

初級

アイヌ語

幌別



財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構

はじめに

この本は、アイヌ語を読んで、書いて、簡単な文法がわかるなど、アイヌ語を学ぶための初歩的な力をつけることを目的に作りました。難しい用語はなるべく使わず、どうしても必要な場合には説明をくわえました。

文法の学習にくわえ、「なぞなぞ」や「となえごと」などの伝統的な言葉あそびや、よく知られた童謡のアイヌ語訳を掲載して、楽しみながら単語や文章を身につけられるようにしています。

本文に掲載した例文は、実際にアイヌ語の語り手が話したものも一部にありますが、大部分は新しく作ったものです。各ページで説明したい内容を盛り込むために、短く単純な言いまわしにしてあります。

アイヌ語の発音は日本語と異なるところがあり、特に難しい所はお手本となる音声を聞きながら学習することが欠かせません。この本を教室等で利用するほか、家庭でも利用できるように例文や単語、言葉あそび、歌などを発音した音声資料を作りました。収録に協力してくださったのは、ふだんは日本語で生活し、アイヌ語は学習によって身につけた人々です。一般に言葉を学ぶときには、生まれつきその言葉を使っている人から教わるのがよいとされており、これはアイヌ語においても同じことがいえます。しかし、そうした自然なアイヌ語の音に触れる機会が少ない中で、最初の手がかりになればという考えから音声資料を作成しました。

この本を通じてアイヌ語に関心を持たれた方は、次のステップとしてこれまでに出版されたより専門的な解説書や視聴覚教材を通じ、自然なアイヌ語の文に触れることをおすすめします。巻末に、この本を作る上で参考にした資料をまとめていますので、そちらも参照してください。

【執筆・編集担当（五十音順）】

北原次郎太、楠本克子、高橋規、高橋靖以、八谷麻衣

【音声収録（五十音順）】

小笠原小夜、加納ルミ子、川村このみ、木村君由美、豊川容子、八谷麻衣、村上恵、山本りえ

この本を作る過程で多くの方にご指導を頂きました。記してお礼申し上げます。

凡例

- ・アイヌ語の表記は『アコロイタケ』（北海道ウタリ協会 1994）に概ね準じた。例文は全てカタカナ・ローマ字の併記とした。解説中の例は必要に応じてローマ字を記載し、他はカタカナのみとした。なお、カタカナは音声の連続や変化を反映させて、実際に発音される音声を理解しやすいように、ローマ字は辞書検索がしやすいように個々の語を境界ごとに区切って示した。
- ・例文を作る際、アイヌ語として一般によく知られた言葉でも方言によっては該当する語彙が確認できないことがあった。その場合は他方言を参照して想定される語を用いるか、造語で対処し、斜体で示した。
- ・例文に地名を使用した箇所がある。アイヌ語地名には、1つの地名について語源の解釈とそこから想定される形が複数あることが少なくない。このため、例文中では現行の漢字による地名表記をそのまま用いた。その他、海外の地名、日本語の語彙についても同様に、一般に用いられている形をそのまま用いた。
- ・アクセントを説明する際、アクセント位置を ■ で示した。
- ・各課の例文で、その課の学習項目に該当する箇所は太字・下線で示した。
- ・例文のほか、口承文学や学習用に考案した歌を掲載している。これらについては幌別方言に限定せず、様々な方言を取りまぜて構成した。
- ・例文に逐語訳をつける代わりに、全出現語彙の訳、品詞を表示したリストを作成し、『中級アイヌ語』の巻末に掲載した。

アイヌ語幌別方言 初級編 目次

はじめに	3	12	カタカナ表記2 子音の書き方	30
凡例	5	13	カタカナ表記3 表記練習	32
音節表	10	14	単語を覚えよう3	34
1 アイヌ語の表現を 覚えて使おう	12	15	言葉あそびで覚えよう3 阿寒のとなえごと	35
2 発音とアクセント1 アイヌ語の五十音	14	16	ローマ字表記1	36
3 発音とアクセント2 音の種類と組み合わせ	16	17	ローマ字表記2 子音の書き方	38
4 発音とアクセント3 子音の発音	18	18	ローマ字表記3 表記練習	40
5 単語を覚えよう1	20	19	ローマ字表記4 y と w	42
6 言葉あそびで覚えよう1 十勝のなぞなぞ	21	20	単語を覚えよう4	44
7 発音とアクセント4 子音の発音 y と w	22	21	言葉あそびで覚えよう4 阿寒・登別のとなえごと	45
8 発音とアクセント5 子音の連続	24	22	発音と表記のまとめ1	46
9 単語を覚えよう2	26	23	文のかたち1 「～が～する」 平叙文	48
10 言葉あそびで覚えよう2 白老・十勝のなぞなぞ	27	24	文のかたち2 「～は～しない」 否定文	50
11 カタカナ表記1	28	25	単語を覚えよう5	52
		26	言葉あそびで覚えよう6 沙流・千歳の鳥のききなし	53

- 27 文のかたち3 「～は～かい？」
疑問文 …………… 54
- 28 人称について学ぶ1
「私が、君が～する」
ク・エの使い方 …………… 56
- 29 単語を覚えよう6 …………… 58
- 30 言葉あそびで覚えよう6
美幌・オオカミを呼ぶ歌 …………… 59
- 31 文のかたち4 「AはBだ」
ネの使い方 …………… 60
- 32 文のかたち5 「～しなさい」
命令文 …………… 62
- 33 文のかたち6 「～するな」
禁止命令文 …………… 64
- 34 単語を覚えよう7 …………… 66
- 35 言葉あそびで覚えよう7
旭川・イヌを呼ぶ歌 …………… 67
- 36 人称について学ぶ2
「私たちが～する」 アシの使い方 68
- 37 人称について学ぶ3
「私たちが、君たちが～する」
チ・エチの使い方 …………… 70
- 38 人称について学ぶ4
「私たちが～する」
ア・アンの使い方 …………… 72
- 39 単語を覚えよう8 …………… 74
- 40 言葉あそびで覚えよう8
アイヌ語かぞえ歌 …………… 75
- 41 数に関する表現1 …………… 76
- 43 数に関する表現2 …………… 78
- 43 動詞の単数複数1
「ひとりで、おおぜいで～する」… 80
- 44 動詞の単数複数2
「ひとりで、おおぜいで～する」
完全に形が変わるタイプ …………… 82
- 45 単語を覚えよう9 …………… 84
- 46 言葉あそびで覚えよう9
美幌のポンチカッポオイナ …………… 85
- 47 動詞の単数複数3
「ひとりで、おおぜいで～する」
「ン」から「フ」に変わるタイプ …… 86
- 48 動詞の単数複数4
「ひとりで、おおぜいで～する」
母音が「パ」に変わるタイプ …… 88
- 49 単語を覚えよう10 …………… 90
- 50 言葉あそびで覚えよう10
幌別・沙流のとなえごと …………… 91
- 51 「どうぞ～なさい」
丁寧な命令文 …………… 92

- 52 人称について学ぶ5
「私を～」 「私たちを～」
エン・ウンの使い方……………94
- 53 人称について学ぶ6
「君を～」 「君たちを～」
エ・エチの使い方……………96
- 54 「私のところに」 「君のそばに」
位置名詞と人称……………98
- 55 単語を覚えよう11……………100
- 56 言葉あそびで覚えよう11
数のかけ合いあそび……………101
- 57 「いつ？」 の聞き方……………102
- 58 「だれが？」 の聞き方……………104
- 59 「どこで？」 「どこへ？」 「どこから？」
の聞き方……………106
- 60 「なに？」 「いくつ？」
の聞き方……………108
- 61 単語を覚えよう12……………110
- 62 言葉あそびで覚えよう12
アイヌ語版「うさぎとかめ」……………111
- 63 「なぜ？」 「どのように？」
の聞き方……………112
- 64 「すごいなあ！」 の言い方
感嘆文……………114
- 65 人称について学ぶ7
「～なさる」 「～していらっしゃる」
人称による敬称表現……………116
- 66 単語を覚えよう13……………118
- 67 言葉あそびで覚えよう13
人称接辞の歌……………119
- 68 「～という」 の言い方
アリを使った引用……………120
- 69 「～して」 「～ので」 の言い方
つなぎの言葉……………122
- 70 「私の手」 「君の手」 の言い方
所有表現1……………124
- 71 「私の～」 「君の～」 の言い方
所有表現2……………126
- 72 単語を覚えよう14……………128
- 73 言葉あそびで覚えよう14
からだの歌……………129
- 74 「私の兄さん」 「君のおじさん」
家族の言い方……………130

- 75 「～した」「～している」
「これから～する」の言い方…… 132
- 76 「～できる」「～できない」
の言い方…………… 134
- 77 「～してください」「～してみる」
「～したい」の言い方…………… 136
- 78 単語を覚えよう15…………… 138
- 79 言葉あそびで覚えよう15
アイヌ語版「赤鼻のトナカイ」 139
- 参考文献…………… 140

アイヌ語(北海道方言)の音節の一覧

【母音】

ア	イ	ウ	エ	オ
---	---	---	---	---

【子音+母音】

カ	キシ	ク	ケ	コ
サ	シ	ス	セ	ソ
タ		トウ	テ	ト
チャ	チ	チュ	チエ	チヨ
ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ
ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ
パ	ピ	プ	ペ	ポ
マ	ミ	ム	メ	モ
ヤ		ユル	イエ	ヨ
ラ	リ		レ	ロ
ワ	ウイ		ウエ	ウオ

【母音+子音】

アク	イク	ウク	エク	オク
アシ	イシ	ウシ	エシ	オシ
アツ	イツ	ウツ	エツ	オツ
アン	イン	ウン	エン	オン
アプ	イプ	ウプ	エプ	オプ
アム	イム	ウム	エム	オム
アイ		ウイ	エイ	オイ
アラ	イリ	ウル	エレ	オロ
アウ	イウ		エウ	オウ

【子音(例としてカ行の音)+母音+子音】

カク	キク	クク	ケク	コク
カシ	キシ	クシ	ケシ	コシ
カッ	キッ	クッ	ケッ	コッ
カン	キン	クン	ケン	コン
カプ	キプ	クプ	ケプ	コプ
カム	キム	クム	ケム	コム
カイ		クイ	ケイ	コイ
カラ	キリ	クル	ケレ	コロ
カウ	キウ		ケウ	コウ

アイヌ語(北海道方言)の音節の一覧

【母音】

a	i	u	e	o
---	---	---	---	---

【子音+母音】

ka	ki	ku	ke	ko
sa	si	su	se	so
ta		tu	te	to
ca	ci	cu	ce	co
na	ni	nu	ne	no
ha	hi	hu	he	ho
pa	pi	pu	pe	po
ma	mi	mu	me	mo
ya	yi	yu	ye	yo
ra	ri	ru	re	ro
wa	wi	wu	we	wo

【母音+子音】

ak	ik	uk	ek	ok
as	is	us	es	os
at	it	ut	et	ot
an	in	un	en	on
ap	ip	up	ep	op
am	im	um	em	om
ay		uy	ey	oy
ar	ir	ur	er	or
aw	iw		ew	ow

【子音(例としてK)+母音+子音】

kak	kik	kuk	kek	kok
kas	kis	kus	kes	kos
kat	kit	kut	ket	kot
kan	kin	kun	ken	kon
kap	kip	kup	kep	kop
kam	kim	kum	kem	kom
kay		kuy	key	koy
kar	kir	kur	ker	kor
kaw	kiw		kew	kow

ステップ1 アイヌ語の表現を覚えて使おう

【勉強を始める前に】

- 1 イランカラナテ。エイワンケ ア。
irankarapte. e=iwanke a.
こんにちは。お元気ですか。
- 2 クイワンケ ワ。タント シリセセク フミ ネ。
ku=iwanke wa. tanto sirseseq humi ne.
元気です。今日は暑いですね。
- 3 ウトゥラノ アイヌイタク アエイワンケ ロ。
uturano aynuitak a=eywanke ro.
みんなで一緒にアイヌ語を使いましょう。

【休憩時間に】

- 1 イルカイ シニアン ロ。
irukay sini=an ro.
少し休憩しましょう。
- 2 アクックホククス クオマンクス ネ。
akup ku=hok kusu ku=oman kusu ne.
飲み物を買に行ってきます。

【勉強を終えた後に】

- 1 エペッチウ サクノ パイエ ヤン。
epetciw sakno paye yan.
気を付けて帰りなさい。
- 2 イヤイライケレ。スイ ウヌカラアン ロ。
iyayraykere. suy unukar=an ro.
ありがとう。また会いましょう。

☆講座や教室での始まり、終わり、休憩時間に使えるアイヌ語表現を覚えましょう。それぞれの単語の意味や文法的な決まりごとは、これから少しずつ学んでいきます。まずは、日常的によく使える表現をまるごと覚えて暗記し、元氣よく声に出して使えるようにしましょう。

☆合わせて、次のような表現も覚えましょう。

タント シリピリカ。

tanto sirpirka.

今日は天気がいい。

タント レラ ユプケ。

tanto rera yupke.

今日は風が強い。

タント アプト アシ。

tanto apto as.

今日は雨が降っている。

スネ アレヤン。

sune are yan.

灯りをつけなさい。

スネ ウシカ ヤン。

sune uska yan.

灯りを消しなさい。

ステップ2 発音とアクセント1 アイヌ語の五十音

☆アイヌ語には、日本語とは違う発音の方法があります。

アイヌ語独特の発音について、少しずつ勉強していきましょう。

☆「音節表（カタカナ）」を見てみましょう。

日本語のアイウエオ、「五十音表」によく似たものが書かれています。

「音節表」を見ながら、ひとつひとつ順番に発音してみましょう。

アイウエオの発音は日本語とほぼ同じですが、ウの音だけは少し唇を丸め、舌を口の奥に引いた状態で発音します。

ア	イ	ウ	エ	オ
カ	キ	ク	ケ	コ
サ	シ	ス	セ	ソ

タ行は、日本語のタチツテトとは少し違います。

チの音は、チャ行と一緒に書かれています。

日本語のツにあたる音は、ごく僅かな方言を除いて基本的にありません。

日本語にはない「トゥ」という音があります。英語のトゥディ Today「今日」のトゥのような発音です。

発音してみましょう。

タ		トゥ	テ	ト
チャ	チ	チュ	チェ	チョ
ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ

アイヌ語には、日本語の力行とガ行、サ行とザ行、タ行とダ行のように、「にごる音」と「そうでない音」の区別はありません。

例 アイヌ語 シンキ「～が疲れる」

シンギと発音しても意味は同じ

日本語 シンキ「新規」

シンギと発音すると「審議」という別の言葉。

但し、ハ行だけは、ハとパをはっきり区別します。パ行とバ行は区別しません。
発音してみましょう。

ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ
パ	ピ	プ	ペ	ポ

例 ハンケ「～が近い」とパンケ「川下のところ」は、違う言葉
フンペ「クジラ」はフンベと発音しても意味は同じ。

マ行からワ行までを発音してみましょう。

イエ、ウエ、ウォの3つの音に注意してください。イエは英語のイエン yen「円」
のイエのように、ウエはウェブサイトのウエ、ウォは韓国の通貨ウォンやウォ
ンバットのような発音です。

マ	ミ	ム	メ	モ
ヤ		ユ	イエ	ヨ
ラ	リ	ル	レ	ロ
ワ	ウィ		ウエ	ウォ

☆今回練習した「一つの音」だけでも、単語として意味のあるものがあります。

よく使う単語を中心に、意味を覚えましょう

エ	「～が～を食べる」
ク	「～が～を飲む」
ニ	「木」
ヌ	「～が～を聞く」
ミ	「～が～を着る」
レ	「名前」

ステップ3 発音とアクセント2 音の種類と組み合わせ

☆アイヌ語の発音を少しずつ練習するために、まず次の言葉を覚えましょう。

母音 子音

☆「音節表」を見ましょう。

a、i、u、e、o（アイウエオ）という5つの音を母音といいます。

ka（カ）、sa（サ）のところには、母音 a の前にそれぞれ k と s が付いています。

カ行のカ、キ、ク、ケ、コは、母音は a、i、u、e、o と変わりますが、その前にはどれも k が付いています。

サ行のサ、シ、ス、セ、ソをみると、やはり母音は a、i、u、e、o と変わりますが、その前には同じ s が付いています。

このような k、s のことを、子音といいます。「音節表」をみると、カ行からワ行まで全部で11の子音があることがわかります。

☆ア、イ、ウ、エ、オのような《母音》と、カ、サのような《母音の前に子音が付いたかたち》の音とが二つ以上続く言葉を発音してみましょう。

サパ	sapa	「頭」
ケマ	kema	「足」
アパ	apa	「戸」
アペ	ape	「火」
スマ	suma	「石」
ノヤ	noya	「ヨモギ」
スプヤ	supuya	「煙」
チセ	cise	「家」
エカシ	ekasi	「おじいさん」
スマリ	sumari	「キツネ」
ヌプリ	nupuri	「山」
キナチャ	kinaca	「～がガマを刈る」
イテセニ	iteseni	「ござを編むための木製の台」

(学習のポイント)

☆アイヌ語の単語にも、アクセントというものがあります。

(地方によってはアクセントがあまりはっきりしない方言もあります)。

アイヌ語のアクセントは、日本語の「箸 (はし)」と「橋 (はし)」と同じように高いか低いかによるもので、高く言うところを指して「アクセントがある」と言います。

よく使う言葉でその違いを確かめてみましょう。

例 アイヌ aynu ⇒ アクセントがあるのは最初のアです。

カムイ kamuy ⇒ アクセントがあるのは二番目のムです。

この「ステップ3」で学ぶ単語は、どれも「最初の音が低くて、二番目の音が高い」タイプのアクセントをもつ単語です。そのことを意識してもう一度発音してみましょう。

☆アクセントがどこに置かれるかについては、大まかな決まりがあります。

その決まりについては「中級アイヌ語」で勉強します。

ステップ4 発音とアクセント 3 子音の発音

☆アイヌ語には、日本語とは違う発音がいくつもあります。

ステップ2で学んだ英語のトゥディ Today 「今日」のようなトゥという音の他に、例えば次のようなものがあります。

フチ あんぱん ホク。 「おばあさんがアンパンを買う」

huci あんぱん hok.

この「ホク」は、「ホク」でも「ホック」でもなく「ホク」と発音します。「ホッカイドウ（北海道）」と発音するときの「ホッ」と言う部分はその音になります。

次の音を意識的に発音してみましょう。

ホク ホック ホッカイドウ ホク

hoku hokku hokkaidou hok

次の日本語をゆっくりと発音してみましょう。

ほっとする ほっかいどう

自分の口の中の舌の動きを意識して発音すると、二つの「ほっ」を発音するとき、舌の位置が違うことに気がきます。

ほっとする ⇒ 舌は歯茎についています。

ほっかいどう ⇒ 舌は歯茎についていません。

アイヌ語の「ホク」は、この「ほっかいどう」というときの音「ほっ」の音です。

☆アイヌ語には、この「ホク」のように、日本語ではあまり使われない音があります。

音節表を見ながら、発音してみましょう。

アム am 「爪」

日本語で「あんぱん」というときの「あん」という発音です。「あんぱん」の「ぱん」とは違って、くちびるの上下が閉じることを意識して発音しましょう。

アシ as 「立つ」

日本語の「足」のようにシをはっきりと発音せずに、アのほうを少し強めにして「アシ」と発音します。

カフ kap 「皮」

日本語で「カップ」というときに、パを言う手前で止めたときのような発音です。「コーヒーカップ」のようにプをはっきり発音せず、最後はくちびるを閉じます。

カラ kar 「～が～を作る」

ピリ pir 「傷」

クル kur 「～の人」

ケレ ker 「靴、はきもの」

コロ kor 「～が～を持つ」

日本語のラ行の音（ラ、リ、ル、レ、ロ）のようなはっきりとした音ではなく、発音する人によって多少違う音に聞こえるあいまいな音です。前の音より少し弱く発音するため、前の母音が響いて「ラ」や「リ」に近く聞こえることもあります。

ステップ5 単語を覚えよう1

- 1 ピリカ pirka 「～が良い」
- 2 ウエン wen 「～が悪い」
- 3 ポロ poro 「～が大きい」
- 4 ポン pon 「～が小さい」
- 5 タンネ tanne 「～が長い」
- 6 タクネ takne 「～が短い」
- 7 ルイエ ruye 「～が太い」
- 8 アネ ane 「～が細い」
- 9 ハンケ hanke 「～が近い」
- 10 トウイマ tuyma 「～が遠い」

☆表記についてはステップ11以降に学ぶので、ここでは音を聞いて発音して覚える事を目指しましょう。

ステップ6 言葉あそびで覚えよう1

十勝地方のなぞなぞ

- ① チャロ カイ イサム、シキ カイ イサム、テケ カイ イサム、
チキリ カイ イサム、ホニ トクセ ワ アン ペ ネ プ ネ ヤ？
caro kay isam, siki kay isam, teke kay isam,
cikiri kay isam, honi tokse wa an pe nep ne ya?
口もなく 目もなく 手もなく
足もなく おなかがふくれているものなんだ？

答えは 141 ページ

- ② アラカシ コロ ペ ネ プ ネ ヤ？
arkas kor pe nep ne ya?
片小屋 持つ もの なんだ？

☆ヒント：アラカシとは片流れの屋根をもつ簡単な野営用の小屋のことです。体の中でこれに似た場所が答えです。

答えは 141 ページ

☆ここで紹介するなぞなぞは吉田巖「アイヌ謎々集(前・後編)」に基づいています。

ステップ7 発音とアクセント4 子音の発音 yとw

☆アイヌ「人間」というときの「イ」は、ひとつひとつの音をはっきりと発音して「ア・イ・ヌ」というのではなく、「アイ・ヌ」のように「イ」の前の音につなげて発音します。

同じような「イ」には、次のようなものがあります。

ヌイナ	nuyna	「～が～を隠す」
オイラ	oyra	「～が～を忘れる」

このような「イ」をカタカナで書くときに、はっきりと発音する「イ」と分けて小さく書いている本もあります。

例	イオマンテ	iomante	「クマなどの霊送り」
	アイヌ	aynu	「人間、男性」

このテキストでは、カタカナで書くときは、どちらも同じ「イ」で表記します。ローマ字で書く場合には、この二つの「イ」を書きわけます（詳細はステップ19）。

例	イオマンテ	iomante
	アイヌ	aynu

☆同じように「ペウレ」(若い)というときの「ウ」も、ひとつひとつの音をはっきりと発音して「ペ・ウ・レ」というのではなく、「ペウ・レ」のように「ウ」を前の音につなげて発音します。

同じような「ウ」には、次のようなものがあります。

ハウケ	hawke	「～が安い」
ラウネ	rawne	「～が深い」

このような「ウ」をカタカナで書くときに、はっきりと発音する「ウ」と分けて小さく書いている本もあります。

例	ウタリ	utari	「仲間、親戚」
	ペウレ	pewre	「若い」

このテキストでは、カタカナで書くときは、どちらも同じ「ウ」で表記します。ローマ字で書く場合には、この二つの「ウ」を書きわけます(詳細はステップ19)。

例	ウタリ	utari
	ペウレ	pewre

ステップ8 発音とアクセント5 子音の連続

☆ステップ7で練習した「フチ あんばん ホク」の「ホク」のような音の後に、さらに別の音が続くと、発音が難しくなります。練習してみましょう。

「ホク」の「ク」の音の後ろに、別の音が続く

マクタ	makta	「後ろに」
アクペ	akpe	「わな」
オクスツ	oksut	「首すじ、うなじ」

「アム」の「ム」の音の後ろに、別の音が続く

オムケ	omke	「～がせきをする」
コムニ	komni	「カシワの木」
アムセツ	amset	「寝台」

「アシ」の「シ」音の後ろに、別の音が続く

ラタシケブ	rataskep	「和え物料理」
キシマ	kisma	「～が～を抱き締める」
ケシト	kesto	「毎日」

「カブ」の「ブ」音の後ろに、別の音が続く

タブスツ	tapsut	「肩」
レブニ	repni	「拍子木」
ポブケ	popke	「暖かい」

小さい「ラ・リ・ル・レ・ロ」の音の後ろに、別の音が続く

アラワン	arwan	「7つの～」
シリカ	sirka	「表面」
モウル	mour	「女性用の肌着」
レレコ	rerko	「3日間」
コロコニ	korkoni	「フキ」

「アットウシ」の「ツ」の音は、日本語の「あっと驚く」の「っ」に似た音ですが、その後ろに別の音が続くことで、少し発音しづらく感じる単語もあります。

ホツネ	hotne	「20個の～」
サツチェブ	satcep	「干し魚」
マツネボ	matnepo	「女の子」

「スンケ sunke 「～がうそをつく」のような「ン」の音は、あまり日本語との違いを意識しなくてもかまいません

シンタ	sinta	「揺りかご」
ランケ	ranke	「～が～を上から下に下げる」
スンケ	sunke	「～がうそをつく」

☆はじめのうちは「マク・タ」のように小文字の後ろで区切って練習すると、楽に発音できます。

ステップ9 単語を覚えよう2

- | | | | |
|----|------|--------|---------|
| 1 | パセ | pase | 「～が重い」 |
| 2 | コシネ | kosne | 「～が軽い」 |
| 3 | リ | ri | 「～が高い」 |
| 4 | ラム | ram | 「～が低い」 |
| 5 | イロンネ | ironne | 「～が厚い」 |
| 6 | カパラ | kapar | 「～が薄い」 |
| 7 | セセク | seseK | 「～が熱い」 |
| 8 | ナム | nam | 「～が冷たい」 |
| 9 | ポプケ | popke | 「～が暖かい」 |
| 10 | メアン | mean | 「～が寒い」 |

ステップ10 言葉あそびで覚えよう2

白老地方のなぞなぞ

- ① レタラセタ ウコイキレヲヘマンタ アン？

retar seta ukoykire p hemanta an?

白いイヌをケンカさせるものなんだ？

☆ヒント：からだのある部分をさす言葉。

答えは 141 ページ

十勝地方のなぞなぞ

- ② ケナシノシケタフレコンチエパウシワアンペネヲネヤ？

kenas noske ta hure konci epausi wa an pe nep ne ya?

林の真ん中で赤い帽子をかぶってるものなんだ？

☆ヒント：根は薬になり、時期を選んで食べるとおいしい。

答えは 141 ページ

☆ここで紹介するなぞなぞは吉田巖「アイヌ謎々集(前・後編)」に基づいています。

ステップ11 カタカナ表記1

☆アイヌ語は、カタカナやローマ字を基本にしながら独自のルールに則って表記します。

カタカナを使ってアイヌ語を表記するにはいろいろな方法があります。これまでに、アイヌ語をカタカナを使って書き残そうとした人はさまざまな方法を試みてきました。それぞれに特徴や優れた点があります。

このテキストは、さまざまな表記法の中から『アコロイタク』（北海道ウタリ協会＝現在の北海道アイヌ協会 1994年）の表記法をベースにしています。

☆いろいろな表記法がありますが、どれにも長所と短所があります。どの表記法を使うにせよ、音声を聞いて正しい発音を学ぶことが欠かせません。

「音節表」を見てみましょう。

日本語で「ホッとひと安心」と書くときの「ッ」のように、字の大きさを少し小さめに書くカタカナが、アイヌ語の一般的なカタカナ表記にはたくさんあります。

フチ あんばん ホク。「おばあさんはあんばんを買った」

このような「ク」は、普通の「ク」と区別して、一般的に「小さいク」などと呼ばれています。

「話すってという意味のアイヌ語のイタクのクって、どう書くんだっけ?」「小さいクを使って、イタクだよ」というように使われます。

☆カタカナ表記に少しずつ慣れるために、まずは、小さいカタカナを使わないで表記できる単語を書いてみましょう。

トマ	「ござ」
ハウエ	「～の声」
イペ	「～が食事をする」
スマ	「石」
シナ	「～が～を縛る」
オヤ	「別の」
ノカ	「図、像」
ヘカチ	「子ども」
コタン	「集落」
ソンノ	「本当に」
パルンペ	「舌」
ノカン	「～が小さい」
アイヌ	「人間」
カムイ	「神」
オハウ	「具のたくさん入った汁」
カピウ	「カモメ」

☆よく使われる単語なので、意味を合わせて覚えましょう。

ステップ 12 カタカナ表記 2 子音の書き方

☆小さいカタカナを使って表記する単語を書いてみましょう。

カタカナは、全ての文字が小さくなるわけではありません。小さいカタカナの数は限られています。まず「音節表」を見て確認してみましょう。

「フチ あんばん ホク」という「ホク」を、普通のクで表記するか、小さいクを使って表記するかは、その単語の発音と深い関係があります。詳しいことはローマ字表記（ステップ 17）で紹介しますが、まずはひとつひとつの単語について、発音とカタカナ表記をセットにして覚えていきましょう。

小さいラ、リ、ル、レ、ロは一般的に次の①～③のどれかに則って表記されるのが通例です。

- ①聞えたとおりに表記⇒聞こえ方でユカラと書いたりユカルと書く
- ②どう聞こえても、共通にル⇒ユカル、ピルカ、モコル
- ③どう聞こえても、前の母音に従って表記

アラ イリ ウル エレ オロ

このテキストでは、③のルールで表記します。ただしこれは「表記のルール上、そうする」というだけで、実際の発音とは違います。

☆小さいカタカナを使って表記する言葉を発音してから、書いてみましょう。

・小さいム

アム「爪」 キム「山」 スム「油」 セム「土間」 モム「流れる」

※なお、フンベ「クジラ」やサンベ「心臓」などの「ン」の音は、上の小さいムと同じ音です。ですから本来はフムペやサムペと書くべきですが、ンの音は後ろにパ行が続いていると自然に小さいムの音で発音されます。むしろフムペと書く方が、実際と違った発音になりかねないので、このような場合は「ン」で表記します。

- ・小さいシ
アシ「～が立つ」 チシ「～が泣く」 クシ「～が通る」 ケシ「端」 ホシ「脚絆」
- ・小さいク
マク「奥」 キク「～が～を叩く」 ウク「～が～を取る」 テク「手」 ポク「～の下」
- ・小さいプ
カプ「皮」 チプ「舟」 トupp「二つ」 レプ「三つ」 オプ「槍」
- ・小さいツ
マツ「女性」 ニツ「棒」 クツ「帯」 セツ「檻」 コツ「くぼみ」

☆小さいプ、ク、ツの違いに注意して発音してから、カタカナで書いてみましょう。

サク 「～が～を欠く」
 サツ 「～が乾く」
 サプ 「～が下る（複数形）」

タク 「～が～を招く」
 タツ 「シラカバの皮」
 タプ 「肩」

☆小さいラリルレロを使って書いてみましょう。

カラ 「～が～を作る」
 キリ 「動物の骨の髄」
 クル 「～の人」
 ケレ 「靴」
 コロ 「～が～を持つ」

ステップ13 カタカナ表記3 表記練習

☆良く使われる単語の発音と、小さいカタカナの混じった表記法を練習しましょう。

単語の意味も併せて覚えましょう。

アイヌイタク	aynuitak	「アイヌ語」
シサムイタク	sisamitak	「日本語」
カムイチェブ	kamuycep	「鮭」
サツチェブ	satcep	「干し魚」
トゥレブ	turep	「オオウバユリ」
チポイエブ	cipoyep	「和え物料理」
ユクカム	yukkam	「鹿の肉」
キケパラセイナウ	kikeparseinaw	「削りかけが広がった木幣」
ウレシバ	urespa	「育て合う」
ケシト	kesto	「毎日」
アットウシ	attus	「樹皮製の着物」
カパラミブ	kaparamip	「上等の着物」
コタンコロカムイ	kotankorkamuy	「シマフクロウ」
パシクル	paskur	「カラス」

チプ	cip	「舟」
チェブ	cep	「魚」
パイカラ	paykar	「春」
サク	sak	「夏」
チュク	cuk	「秋」
マタ	mata	「冬」
タント	tanto	「今日」
ヌマン	numan	「昨日」
ニサッタ	nisatta	「明日」
アミブ	amip	「着物」
チタラペ	citarpe	「ござ」
サラニブ	saranip	「網み袋」

ステップ 14 単語を覚えよう 3

1	カムイ	kamuy	「クマ」
2	ユク	yuk	「シカ」
3	チロンヌプ	cironnup	「キツネ」
4	モユク	moyuk	「タヌキ」
5	セタ	seta	「イヌ」
6	エサマン	esaman	「カワウソ」
7	エルム	erum	「ネズミ」
8	ホイヌ	hoinu	「テン」
9	イセポ	isepo	「ウサギ」
10	タンネカムイ	tannekamuy	「ヘビ」

ステップ 15 言葉あそびで覚えよう 3

阿寒地方のおまじない

◇歯が抜けたとき

エピリカイマキ エンコレ。クウェニマキ エコレアンナ。

e=pirkaimaki en=kore. ku=wenimaki e=kore=an na.

あなたの良い歯をちょうだい。私の悪い歯をあげるよ。

☆子どもの歯が抜けると、丈夫な永久歯が生えるようにと願いを込めてとなえごとをします。上の歯が抜けた時は縁の下へ、下の歯が抜けた時は屋根の上へ投げ上げながらこの言葉をとなえます。

☆このとなえごとを収録するにあたり日本放送協会『アイヌ伝統音楽』を参照しました。

ステップ 16 ローマ字表記 1

☆アイヌ語を表記するのに、カタカナとともによく使われるのがローマ字です。

ローマ字は、アイヌ語の仕組みをより良く理解するためには非常に有効なものです。

まず「音節表」を見て、ローマ字に慣れましょう。

アイヌ語の表記には、アイウエオという5つの母音を示す a、i、u、e、o と、カ行、サ行、タ行などをあらわす子音としての k、s、t、c、n、h、p、m、y、r、w の 11 文字、合計 16 文字のアルファベットを組み合わせて使います。

どのローマ字がどの音に対応するかに慣れましょう

(例えばマミムメモのマ行を表すときは、子音の m と 5 つの母音とを組み合わせる、など)

「音節表」を見ながら、ローマ字を書いてみましょう。

a	i	u	e	o
ka	ki	ku	ke	ko
sa	si	su	se	so
ta		tu	te	to
ca	ci	cu	ce	co
na	ni	nu	ne	no
ha	hi	hu	he	ho
pa	pi	pu	pe	po
ma	mi	mu	me	mo
ya	yi	yu	ye	yo
ra	ri	ru	re	ro
wa	wi	wu	we	wo

☆一つの音でも、意味のある単語として成り立っているものがたくさんあります。

よく使われる単語の意味を、併せて覚えましょう。

a	「～が座る」
e	「～が～を食べる」
ka	「糸」
ku	「弓」
su	「鍋」
se	「～が～を背負う」
so	「滝」
ta	「～が～を掘る（オオウバユリの根茎など）」
tu	「2つの」
to	「湖」
ni	「木」
nu	「～が～を聞く」
hu	「～が生である」
ma	「～が～を焼く」
mi	「～が～を着る」
ya	「網」
ye	「～が～を言う」
ru	「道」
re	「名前」

ステップ 17 ローマ字表記 2 子音の書き方

☆「フチ あんばん ホク」の「ホク」のようにカタカナ表記で小さく書く単語を、ローマ字で書いてみましょう。

「ホク」をローマ字で表記して、「ホク」のローマ字表記との違いを見てみると、次のようになります。

ホク	hok	「～が～を買う」
ホク	hoku	「～の夫、だんなさん」

「小さいカタカナ」を使って「ク」と書いた部分は、ローマ字表記では「k」と表記します。ステップ 16 で学んだ「ク」のローマ字表記である「ku」と違って、母音をあらわす「u」は書きません。

カタカナで「アツカ」と書く単語と、「アプンノ」と書く単語を、ローマ字で表記してみましょう。

アツカ	apka	「オスのシカ」
アプンノ	apunno	「静かに」

「小さいカタカナ」を使って「プ」と書いた部分は、ローマ字表記では「p」と表記します。ステップ 16 で学んだ「プ」のローマ字表記である「pu」と違って、母音をあらわす「u」は書きません。

☆このように、小さいカタカナを使って表記する音をローマ字で表記するときは、母音を書かないで子音だけを書きます。

小さいカタカナを使って「ラ、リ、ル、レ、ロ」と書く音は、母音を書かないで子音だけ書くので、全て「r」で表記することになります。

☆このルールにのっとして、ローマ字表記の練習をしましょう。

t	クツ	kut	「帯」
	サツ	sat	「～が乾く」
	タツ	tat	「シラカバの皮」
m	サム	sam	「～のそば」
	トム	tom	「～が光る」
s	クシ	kus	「～が～を通る」
	プシ	pus	「～がはじける、～が破裂する」
k	サク	sak	「～が～を欠く」
	キク	kik	「～が～を叩く」
	テク	tek	「手」
p	チェプ	cep	「魚」
	カプ	kap	「皮」
	ネプ	nep	「何」
r	カラ	kar	「～が～を作る」
	ピリ	pir	「傷」
	クル	kur	「人」
	ケレ	ker	「靴、はきもの」
	コロ	kor	「～が～を持つ」

ステップ 18 ローマ字表記 3 表記練習

☆ステップ 6 で発音を練習した単語を、ローマ字の表記のルールを意識しながら、もう一度ローマ字で表記してみましょう。

小さい「ク」を k で表記する。

マクタ	makta	「奥に」
アクペ	akpe	「わな」
オクスツ	oksut	「首すじ、うなじ」

小さい「ム」を m で表記する。

オムケ	omke	「～が風邪をひく」
コムニ	komni	「カシワの木」
アムセツ	amset	「寝台」

小さい「シ」を s で表記する。

ラタシケブ	rataskep	「和え物料理」
キシマ	kisma	「～が～を抱き締める」
ケシト	kesto	「毎日」

☆小さい「プ」を p で表記する。

タプスツ	tapsut	「肩」
レプニ	repni	「拍子木」
ポプケ	popke	「暖かい」

☆「カラ」のような小さい「ラリルレロ」を r で表記する。

アラワン	arwan	「7つの～」
シリカ	sirka	「表面」
モウル	mour	「女性用の肌着」
レレコ	rerko	「3日間」
コロコニ	korkoni	「フキ」

☆小さい「ツ」を t で表記する。

ホツネ	hotne	「20個の～」
サツチエプ	satcep	「干し魚」
マツネポ	matnepo	「娘」

ステップ 19 ローマ字表記 4 y と w

☆なじみのある単語を、ローマ字で表記してみましょう。

☆ステップ7で触れたように、アイヌやカムイなど、母音がふたつ連続で続くときは後ろの母音を軽く発音します。このような音を表記するときは、ainu、kamui と書かずに aynu、kamuy のように「y」を使います。

同じような例で、次のようなものがあります。

y : スイ	suy	「また、再び」
トイ	toy	「土」
ライ	ray	「～が死ぬ」
w : ハウ	haw	「声」
マウ	maw	「空気」

アイヌ	aynu	「人間」
カムイ	kamuy	「神」
コタン	kotan	「村、集落」
イクパスイ	ikupasuy	「御神酒の箸」

ウポポ	upopo	「歌」
リムセ	rimse	「踊り」
イケウ	ikkew	「腰」
チェブ	cep	「魚」
コタンコロカムイ	kotankorkamuy	「シマフクロウ」
アイヌイタク	aynuitak	「アイヌ語」
シサムイタク	sisamitak	「日本語」
ヤムワツカ	yamwakka	「冷たい水」
シリセセク	sirsesek	「(気候が) 暑い」

ステップ 20 単語を覚えよう 4

1	フンペ	humpe	「クジラ」
2	レプンカムイ	repunkamuy	「シャチ」
3	エタシペ	etaspe	「トド」
4	ピパ	pipa	「カワシンジュガイ」
5	シリカブ	sirkap	「カジキマグロ」
6	シペ	sipe	「サケ」
7	イチャニウ	icaniw	「マス」
8	サマンペ	samampe	「カレイ」
9	アンパヤヤ	ampayaya	「カニ」
10	エレクシ	erekus	「タラ」

ステップ 21 言葉あそびで覚えよう 4

阿寒地方

◇湯治の前のとなえごと

セセッカコロカムイ エンキヌイケシ。

seseccakorkamuy en=kipnuykes.

温泉の神様 私を助けてください。

☆温泉がわく地域では、湯治の習慣がありました。温泉の神様をセセッカコロカムイやヌコロカムイと呼んで、湯治をはじめる前に声をかけてあいさつしました。屈斜路では、イナウを捧げて祈ってから入湯することもあります。

☆キヌイケシは東部の言い方で、西部ではキヌウケシといいます。

登別地方

◇雁が飛ぶのを見たときのとなえごと

エムシ エンコレ。 タマ エンコレ。

emus en=kore. tama en=kore.

刀 私におくれ。 玉 私におくれ。

☆初冬に雁や白鳥などの渡り鳥がやってくるのを見ると子どもたちはこのような歌を歌いました。刀は男性の宝物、玉は女性の宝物の代表でした。

☆このとなえごとを収録するにあたり日本放送協会『アイヌ伝統音楽』を参照しました。

ステップ 22 発音と表記のまとめ 1

☆次の単語を、ローマ字表記を見て音の違いに注目しながら、発音してみましょう。

《-kk-と -tk-》

w <u>ak</u> ka	ワッカ	「水」	o <u>kk</u> ayo	オッカヨ	「男性」
ka <u>t</u> katemat	カッケマツ	「上品な女性」	ho <u>t</u> ke	ホッケ	「横になる」

《-pp-と -tp-》

ce <u>pp</u> o	チェッポ	「小魚」	ce <u>p</u> pake	チェッパケ	「魚の頭」
mi <u>t</u> po	ミッポ	「孫」	a <u>t</u> pake	アッパケ	「はじめ」

《-ss-と -ts-》

a <u>ss</u> ap	アッサブ	「權」	pe <u>t</u> sa <u>m</u>	ペッサム	「川のそば」
----------------	------	-----	-------------------------	------	--------

☆nの音(=ン)は、p(パ行の音)やm(マ行の音)の前になると、無意識にm(小さい「ム」の音)で発音されます。

(例)アンパ anpa 「～が～を持つ」

実際の発音は ampa となりますが、表記は、 anpa と書きます。

(子音 p、t、k、c、 + 母音 i または u) の後に、(子音 p、t、k、c) で始まる音 + 母音が続くときは、特に母音をはっきり発音するように注意しましょう。

(例) フチ huci 「おばあさん」
チカブ cikap 「鳥」

ある一つの音が、後の特定の音がくると別の音に変化する、ということがあります。

初級編では、次のような例が出てきます。

ク + コロ + トット クコットット
ku= kor totto ku=kot totto 「私のおかあさん」

ステップ 23 文のかたち 1 「～が～する」 平叙文

(例文)

1 アチャ アツカシ。

aca apkas.

おじさんが歩く。

2 ウナラペ ホシピ。

unarpe hosipi.

おばさんが家に帰る。

3 アペ ウシ。

ape us.

火が消えた。

4 アプト アシ。

apto as.

雨が降った。

5 エカシ コロトウキ フレ。

ekasi kor tuki hure.

おじいさんの酒杯は赤い。

6 クコロ ウナラペ オムケカラ。

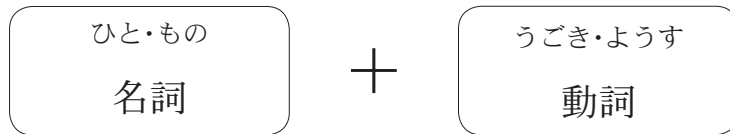
ku=kor unarpe omkekar.

私のおばさんは風邪をひいている。

(学習内容とポイント)

「～が～する」もっともシンプルな文のかたち

例文1～4は、2つの言葉が並び「～が～する」という文になっています。前(下線部)にくるのが「～が」に当たる言葉です。これは「おじさん」「おばさん」「火」「雨」など人や物を表す言葉「名詞(めいし)」です。後ろにくるのが「～する」にあたる言葉です。「～が歩く」「～が帰る」「～が消える」「～がふる」のような、動作や様子を表す言葉「動詞」です。



日本語と同じように「アチャポ(おじさん)・「アプカシ(歩く)」と並べるだけで、もっともシンプルな文ができあがります。日本語のような「が」に当たる言葉はいりません。

アイヌ語の動詞は、「すでに起こったこと」「いま起きていること」「これから起こること」を表すことができます。たとえば例文3のウシは「(火)が消えた」という意味にも「消えている」という意味にもなります。

「～する～」

名詞(人・物の言葉)と動詞(動作の言葉)の順序を入れ替えると「～する～」という言葉になります。たとえば「アチャ アプカシ」の前後を入れ替えると「アプカシアチャ(歩くおじさん)」のように、動詞が名詞を説明する働きをします。

例文5と6は、「～が」にあたる部分にたくさんの言葉が並んでいます。これも「トゥキ(酒盃)」や「ウナラベ(おばさん)」という名詞を「おじいさんの」や「私の」という説明がついた形で、全体としては名詞と同じ働きをしています。

ステップ 24 文のかたち 2 「～が～しない」 否定文

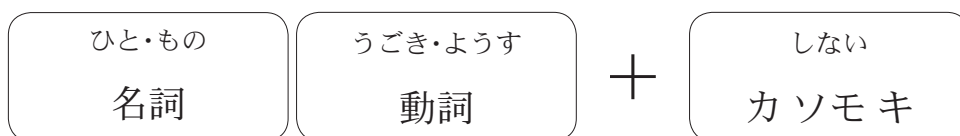
(例文)

- 1 アチャ アツカシ カソモキ。
aca apkas **ka somo ki**.
おじさんは歩かない。
- 2 ヌマン クコロ ウナラペ ホシピ カソモキ。
numan ku=kor unarpe hosipi **ka somo ki**.
昨日、おばさんは帰って来ない。
- 3 アペ ウシ カソモキ。
ape us **ka somo ki**.
火が消えない。
- 4 アプト アシ カソモキ。
apto as **ka somo ki**.
雨が降らない。
- 5 エカシ コロ トウキ ソモフレ。
ekasi kor tuki **somo hure**.
おじいさんの酒杯は赤くない。
- 6 クコロ ウナラペ ソモ オムケカラ。
ku=kor unarpe **somo** omkekar.
私のおばさんは風邪をひいていない。

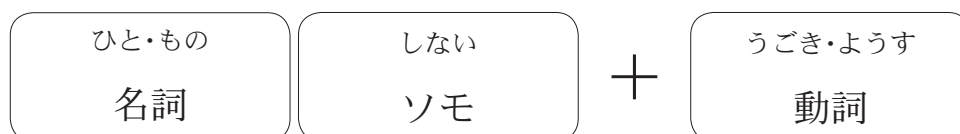
(学習内容とポイント)

「～は～しない」否定の文

前のステップで見たシンプルな文の後ろ(動詞の後ろ)にカ ソモ キをつけると「～しない」というを否定をあらわす文になります。



また、例文 5、6 のように、動詞の前にソモをつけることでも否定の文を作る事ができますが、普段の会話では「～カ ソモ キ」のタイプの方がよく使われます。



なお、「ソモ」は、モの方が高くなるように発音します。～カ ソモ キの場合も、モが高くなります。日本語になれた人は自然にソの方を高く発音しがちなので気をつけましょう。

このほか、中級のステップ 11 で扱う否定動詞を使う方法もあります。

ステップ 25 単語を覚えよう 5

- | | | | |
|----|----------|---------------|----------|
| 1 | コタンコロカムイ | kotankorkamuy | 「シマフクロウ」 |
| 2 | アマメチカッポ | amamecikappo | 「スズメ」 |
| 3 | パシクル | paskur | 「カラス」 |
| 4 | チピヤク | cipiyak | 「オオジシギ」 |
| 5 | シチカブ | sicikap | 「タカ」 |
| 6 | オンネウ | onnew | 「ワシ」 |
| 7 | エヤミ | eyami | 「カケス」 |
| 8 | ペケッチカブ | peketcikap | 「ハクチョウ」 |
| 9 | エトウピリカ | etupirka | 「エトピリカ」 |
| 10 | トキット | tokitto | 「コノハズク」 |

ステップ26 言葉あそびで覚えよう6

沙流地方

◇ハトの聞きなし

クスウェプトイタ	フチ ワッカタ
kusuwep toyta	huci wakkata
ヤマバト畑耕す	婆水を汲む

カッケマツ スケ	ポントノ イペ
katkemat suke	pontono ipe
奥さん料理する	若様 食事する

☆この言葉遊びを収録するにあたり、日本放送協会『アイヌ伝統音楽』を参照しました。

千歳地方

◇ツツドリの聞きなし

トウトウツ	トウトウツ	シコツペツ	チェブサク
tutut	tutut	sikotpet	cep sak
		千歳川	魚を欠く

トウシペツ	チェブオツ	トウトウツ	トウトウツ
tuspet	cep ot	tutut	tutut
トシベツ川	魚が群れる		

☆ツツドリの鳴き声をよく聞くとこのように鳴いているといえます。その年によって、反対に「シコツペツ チェブオツ (千歳川 魚が群れる) トウシペツ チェブサク (トシベツ川 魚を欠く)」と聞こえるともいい、ツツドリの鳴き声はその年の豊漁を占うものとして注意が向けられました。

ステップ 27 文のかたち 3 「～は～かい？」 疑問文

(例文)

- 1 ナアチャ トイ カ タ ア ワ アン？
na aca toy ka ta a wa an?
おじさんはまだ地面に座っていますか？
- 2 エ、ナアチャ トイ カ タ ア ワ アン マ。
e, na aca toy ka ta a wa an wa.
はい、おじさんはまだ地面に座っています。
- 3 ヌマン エコロ ウナラペ ホシピ ヤ？
numan e=kor unarpe hosipi ya?
昨日君のおばさんは帰りましたか？
- 4 エ、クコロ ウナラペ ホシピ。
e, ku=kor unarpe hosipi.
はい、私のおばさんは帰りました。
- 5 エカシ コロチセ オッタ トウキ アン ル ウエ？
ekasi kor cise or ta tuki an ruwe?
おじいさんの家には酒杯がありますか？
- 6 エ、エカシ ピリカ トウキ ポロンノ コロワ アン ル ウエ ウン。
e, ekasi pirka tuki poronno kor wa an ruwe un.
はい、おじいさんは良い酒盃をたくさん持っています。

(学習内容とポイント)

「～は～かい？」 シンプルな問いかけの文

問いかけの文にはいくつかのタイプがあり、簡単な文はごく身近な相手に、すこし複雑な文は改まった問いかけの際につかいます。

いちばん簡単な問いかけは、例文1のように文の終わりを上げるように発音することで表します。

エカシ エク？ ㇿ
じいちゃん 来た？

アヲト？ ㇿ
雨？

これだけでも問いかけになりますが、文の終わりに「ヤ」あるいは「ヘ」をつけると、よりはっきりした問いかけになります。日本語の「～かい？」にあたるような言葉です。

エカシ エクヤ？ ㇿ
じいちゃん 来たかい？

アヲト ヘ？ ㇿ
雨かい？

応えるときは、Yes なら同じ文で、No のときは否定の文で答えます。

(エカシ) エク。

(エカシ) エクカソモキ。

(じいちゃん) 来た。

(じいちゃん) 来ない。

※エカシは略することもできます。

少し改まった問いかけ

上でみた簡単な文は、少し丁寧な話し方をしたいときには向きません。より丁寧な問いかけでは、文の最後にルウエをつけます。応えるときも、丁寧な応答にはルウエ ウンを使います。

エカシ エクルウエ？ エクルウエ ウン。
じいちゃん 来たの？ 来たのです。

エクカソモキルウエ ウン。
来もしないのです。

ステップ 28 人称について学ぶ 1 「私が、君が～する」 ク・エの使い方

(例文)

- 1 ヌマン ネウン エオマン?
numan neun e=oman?
昨日どこに(君は)行ったの?
- 2 ヌマン チエフクコイキクス ペトルンクサン。
numan ciep ku=koyki kusu pet or un ku=san.
昨日私は魚を釣りに川に(私は)行った。
- 3 ペトッタ チエフポロンノアン。
pet or ta ciep poronno an.
川に魚がたくさんいた。
- 4 チエフポロンノクコイキアワ。
ciep poronno ku=koyki a wa.
魚をたくさん(私は)捕ったよ。
- 5 札幌 コタヌン エオマン ヤ?
札幌 kotan un e=oman ya?
札幌に(君は)行ったの?
- 6 エ、札幌 コタヌンクオマン。
e, 札幌 kotan un ku=oman.
うん、札幌に(私は)行った。
- 7 ルヤンペ アシクス、ボンノクイシトマ。
ruyanpe as kusu, ponno ku=isitoma.
嵐がきて、少し(私は)怖かった。

(学習内容とポイント)

「私が～する」

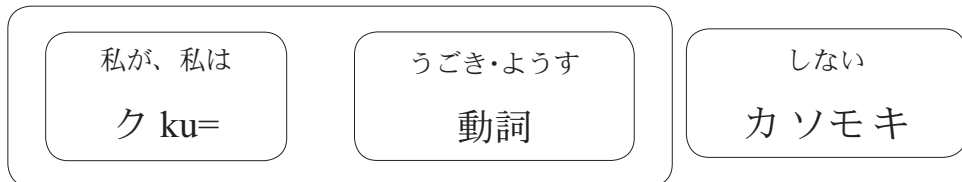
「私が～する」という文では、動詞の前に「ク」がつきます。クは日本語の「私」とちがいで、動詞の一部です。動詞とクの間には何も入りません。また、文のなかに動詞が2つあれば2つ、3つあれば3つともクをつけた形にし、省略することはできません。



ク + シノッ 「～が遊ぶ」 → クシノッ。「私が遊ぶ」
ku= sinot ku=sinot.

ローマ字では ku= と書いて「=」は読みません。読む時は一息に読み、クの後で区切らないようにします。

否定の文にしたいときは、動詞の後ろに「カ ソモ キ」をつけます。クの前に「ソモ」をつける方法もあります。



クシノッ カ ソモ キ。 「私は遊ばない」
ku=sinot ka some ki.

「君は～する」「彼は～する」

「君」が主語になる場合は、動詞の前に「エ e=」をつけます。否定の作り方などのルールは「私」の場合と同じです。例文3のように「私」でも「君」でもない第3者が主語になる場合は、動詞には何もつけません。

エ ホユプ。「君は走る」 ホユプ。「彼は走る」
e=hoyupu. hoyupu.

ステップ 29 単語を覚えよう 6

- | | | | |
|----|-------|----------|----------|
| 1 | チマチエプ | cimacep | 「焼き魚」 |
| 2 | オハウ | ohaw | 「具のある汁」 |
| 3 | サヨ | sayo | 「かゆ」 |
| 4 | ポチポチ | pocipoci | 「和え物料理」 |
| 5 | シト | sito | 「団子」 |
| 6 | カム | kam | 「肉」 |
| 7 | チエプ | ciep | 「魚」 |
| 8 | シアمام | siamam | 「米」 |
| 9 | スケ | suke | 「～が料理する」 |
| 10 | ケラアン | keraan | 「おいしい」 |

ステップ 30 言葉あそびで覚えよう 6

美幌地方

◇サマイクルがオオカミ神を呼ぶときの歌

ケロケロ	ケロラリ
ケロポロ	ウサキナ
アマキナ	イヤママ
カラカニ	ヒルトンパ
ヒンナケロ	ヒンナチョチョ

kerokero	kerorari
keroporo	usakina
amakina	iyamama
karakani	hirutompa
hinnakero	hinnacoco

☆ サマイクルという世界をつくったえらい神様がオロケウトノ（オオカミ神）を呼ぶときの歌と言われるものです。ステップ 35 で紹介している旭川の歌と同じ類のものでしょう。いちばん最後のチョチョは、イヌを呼ぶときに出す音です。

注：この歌の収録にあたって、日本放送協会放送文化研究所・日本コロムビア（1949）『アイヌ歌謡集 第2集』を参照しました。

ステップ 31 文のかたち 4 「AはBだ」 ネの使い方

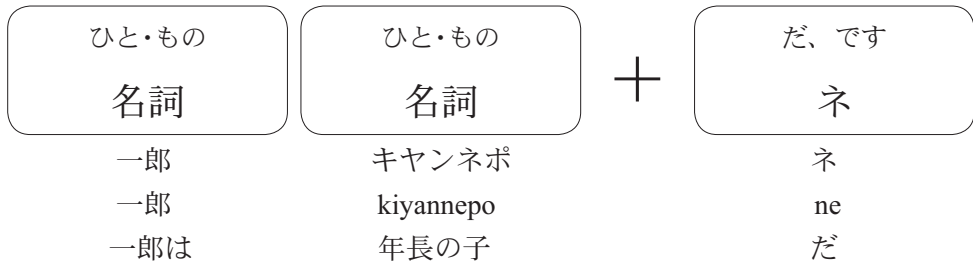
(例文)

- 1 クアニ キヤンネポ クネ。
kuani kiyannepo ku=ne.
私は長男(私は)である。
- 2 ペトッタ ワッカ タ メノコ クコロ ウナラペ ネ。
pet or ta wakka ta menoko ku=kor unarpe ne.
川で水汲みをしているのは、私のおばさんです。
- 3 アウ タ アン メノコ ピリカ ケウトウム コロ ペ ネ。
aw ta an menoko pirka kewtum kor pe ne.
隣の奥さんは、気立ての良い女性です。
- 4 トアン チセ エコロ チセ ネ ヤ?
toan cise e=kor cise ne ya?
あの家は君の家ですか？
- 5 タン キナ エカラ ペ ネ ルウエ?
tan kina e=kar pe ne ruwe?
このござはあなたが編んだものですか？
- 6 タン キナ クマチリペ カラ ペ ネ ルウエ ウン。
tan kina ku=macirpe kar pe ne ruwe un.
これは私の妹が編んだござです。
- 7 ニテク カ タ レウ ワ アン ペ アナクネ、シサム イタク アリ「カラス」アリ
アイエ チカブ ネ。
nitek ka ta rew wa an pe anakne, sisamitak ari “カラス”ari a=ye cikap ne.
木の枝に止まっているのは、日本語でカラスという鳥です。

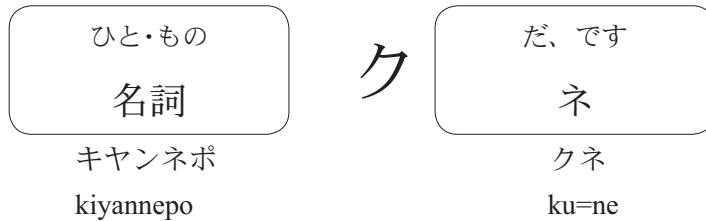
(学習内容とポイント)

「AはBだ」という文

「一郎は長男だ」のような文を作る時は、「一郎・長男」の順に言葉を並べ、最後にネをつけます。ネは日本語の「～だ、である、です」に当たる言葉です。



ネは動詞の一種です。ですから、「私は～だ」というときは、ネの前にクをつけた形にします。



この文を否定の文にするためにはやはりソモを使いますが、カ ソモ キの代わりにカ ソモ ネを使います。

一郎 キヤンネポ ネルウエ?	キヤンネポ カソモ ネ。
一郎 kiyannepo ne rowe?	kiyannepo ne ka somo ne.
一郎は年長の子なの?	年長の子ではない。

キヤンネポ エネルウエ?	キヤンネポ クネルウエ カソモ ネ。
kiyannepo e=ne rowe?	kiyannepo ku=ne rowe ka somo ne.
年長の子君なの?	年長の子私であるのではない。

ステップ 32 文のかたち 5 「～しなさい」 命令文

(例文)

- 1 ナニ ホプニワ アプカシ。
nani **hopuni** wa **apkas**.
すぐに立ちあがって歩きなさい。
- 2 トウナシノ アプカシヤン。
tunasno **apkas yan**.
速く走りなさい。
- 3 エカシコロトウキ フナラヤン。
ekasi kor tuki **hunara yan**.
おじいさんの酒杯を探しなさい。
- 4 アペ ウシカヤン。
ape **uska yan**.
火を消しなさい。
- 5 ネフネヤッカ エワホクレ ポロ。
nep ne yakka **e** wa hokure **poro**.
なんでも食べてはやく大きくなりなさい。
- 6 ホクレ リテン。
hokure **riten**.
早く元気になりなさい。

(学習内容とポイント)

「～しなさい」

相手に何かを求める文を命令文と言います。いちばん簡単には動詞をそのまま投げかけることで命令文を作ることができます。

例文1は「立ち上がりなさい」と「歩きなさい」という2つの文をつないでできています。

ホプニ	(ワ)	アツカシ
hopuni	(wa)	apkas
立ち上がれ	(～して)	歩け

ふつう、命令とは相手に向かって伝えるものです。ですから「エ e=」を使って「君は～する」という文にしたいくなります。ところが、命令の文には「エ」や「ク」をつけず、動詞をそのまま言うだけでよいのです。

ただ、このままの文では、いささかぞんざいな口調になります。そこで文の終わりに色々な言葉を添えることで、こまかいニュアンスを表現します。「ハニ」をつけると、軽く念をおすような柔らかい口調になります。「ヤン」は本来は数人の相手にむかって命令するときに使いますが、1人の相手に向かって使うと丁寧さの表現になります。2つを組み合わせることもできます。その時はヤンの方が先になります。

スネアレハニ。	スネアレヤン。
sune are hani.	sune are yan.
灯りつけてね。	灯りつけなさい。

スネアレヤナニ。
sune are yan ani.
灯りをお消しなさい。

ステップ 33 文のかたち 6 「～するな」 禁止命令文

(例文)

1 イテキ トウイマノ シネンネ アツカシ ヤン。

iteki tuymano sinenne apkas **yan**.

一人で遠くへ行ってはいけないよ。

2 イテキ ペトルン オクイマ ヤン。

iteki pet or un okuyma **yan**.

川に向かっておしっこをしてはだめだよ。

3 イテキ トフセ。

iteki topse.

唾を吐くんでない。

4 イテキ モコンノピリカノ ヌ。

iteki mokor no pirikano nu.

寝ないでちゃんと聞け。

5 イテキ イルシカ ヤン、クコロ カツケマツ。

iteki iruska yan, ku=kor katkemat.

怒らないでください、私の奥さん。

6 エ、クエラマンワ。

e, ku=eraman wa.

はい、(私は)わかりました。

(学習内容とポイント)

「～するな」禁止の文

例文は、始めにイテキ iteki があることを除けば命令の文とほぼ同じ形をしています。「～するな」という文は「～しろ」とは反対の意味ですが、やはり一種の命令です。

禁止の文は、動詞に何もついていない状態で、文のはじめか動詞の前にイテキをつけます。イテキがつくことで、文に「～するな」という意味が加わります。

オマン。	イテキ オマン。
oman.	iteki oman.
行け。	決して行くな。

文の末尾も命令文と同じです。やや、やわらかい禁止のときにはハニを、丁寧に制止するときにはヤンを使います。ヤンを使うと複数形がある動詞は複数形になります。

イテキ オマン ハニ。	イテキ パイエ ヤン。
iteki oman hani.	iteki paye yan.
決して行くんでないよ。	決して行ってはいけません。

子守歌に使われる「泣かないで眠りなさい」という文も、イテキを使います。

イテキ チシノ モコロ ハニ。
iteki cisno mokor hani.
泣かないで眠りなさい。

ステップ 34 単語を覚えよう 7

- | | | | |
|----|------------------|---------|----------|
| 1 | アミプ | amip | 「着物」 |
| 2 | アットウシ | attus | 「樹皮製の着物」 |
| 3 | ルウンペ | ruunpe | 「木綿の着物」 |
| 4 | モウル | mowru | 「女性用の肌着」 |
| 5 | ケレ | ker | 「靴」 |
| 6 | コンチ | konci | 「帽子」 |
| 7 | ホシ | hos | 「脚絆」 |
| 8 | テクンペ | tekunpe | 「手甲」 |
| 9 | チシボ ² | cispo | 「針入れ」 |
| 10 | ニンカリ | ninkari | 「耳飾り」 |

ステップ 35 言葉あそびで覚えよう 7

旭川地方

◇サマイエクルのイヌの名前

タナタナ クニケ

トキカポ ソカポ

タルケ アサナサナ

ユクトマキウカ アンパトマキウカ

ナフテ ナタランパ

チョチョチョチョ

tanatana kunike

tokikapo sokapo

taruke asanasana

yuktomakiwka anpatomakiwka

nahute nataranpa

cocococo

☆ サマイエクルという世界を作ったえらい神様が飼っていたイヌの名前です。さいごのチョチョチョチョはイヌを呼ぶときに出す音です。

ステップ 36 人称について学ぶ 2 「私たちが～する」 アシの使い方

(例文)

1 クアブカシ。

ku=apkas.

私が歩く。

2 アブカシアシ。

apkas=as.

私たちが歩く。

3 ヌマン クペライ ワソンノ クシンキ。

numan **ku=peray** wa sonno **ku=sinki.**

昨日私は魚釣りをしてとても (私は) 疲れた。

4 ヌマン ペライアシ ワソンノ シンキアシ。

numan **peray=as** wa sonno **sinki=as.**

昨日私たちは魚釣りをしてとても (私たちは) 疲れた。

5 クチシ コロ クキラ。

ku=cis kor **ku=kira.**

私は泣きながら (私は) 逃げた。

6 チサシ コロ キラアシ。

cis=as kor **kira=as.**

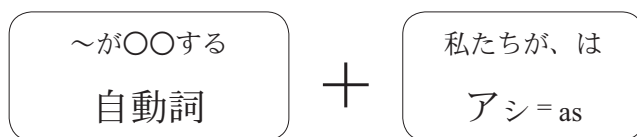
私たちは泣きながら (私たちは) 逃げた。

(学習内容とポイント)

「私たちが～する」

「私たちが～する」という文には、いくつかの形があります。ステップ 36～38 で学びます。

例文にあるアブカシ「～が歩く」やペライ「～が魚釣りする」、シンキ「～が疲れる」などは自動詞というタイプの言葉です (ステップ 43 で解説します)。これらの動詞の後ろにアシ (=as) をつけると誰かに向かって「私たちが～する」という文になります。

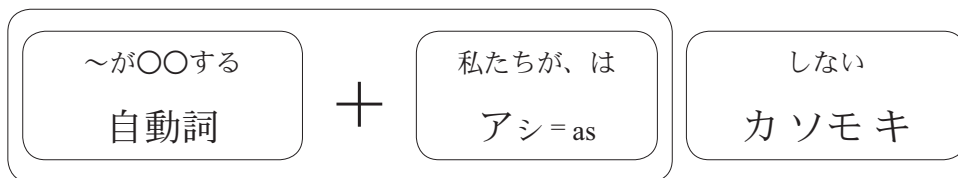


シノッ「～が遊ぶ」+アシ → シノッアシ。「私たちは遊ぶ」
sinot as sinot=as.

ローマ字では =as と書いて「=」は読みません。読む時は、上の例のように区切って言うことも「シノタシ」のようにつなげることもあります。

なお、初めて見る言葉が自動詞かどうかを見分けるのはとても難しいので、アシがついた形で覚えてしまうことをお勧めします。

アシも動詞の一部で、動詞とアシの間には何も入りません。また、クヤエと同じように、文のなかの動詞すべてにつけ、省略することはできません。否定の文にしたいときは、動詞の後ろに「カソモキ」をつけます。ステップ 77 に出てくるルスイ「～したい」なども同じです。



シノッアシカソモキ。「私たちは遊ばない」
sinot=as ka somo ki.

ステップ37 人称について学ぶ3「私たちが、君たちが～する」チ・エチの使い方

(例文)

- 1 ヌマン エチコロ フチ キ ウウエペケレ エチヌ？

numan eci=kor huci ki uwepeker **eci=nu**?

昨日君たちのおばあちゃんの話す昔話を (君たちは) 聞いた？

- 2 ソモ。ヌマン チコロ エカシ トウラ シノツアシ コロ オカヤシ アワ。

somo. numan ci=kor ekasi tura **sinot=as** kor **okay=as** a wa.

いや。昨日私たちのおじいちゃんと (私たちは) 遊んで (私たちは) いたんだ。

- 3 タヌクラン チコロ フチ トウラノ ポチポチ チエワ オカケ タ ウウエペケレ チヌ クス ネナ。

tanukuran ci=kor huci turano pocipoci **ci=e** wa okake ta uwepeker **ci=nu** kusu ne na.

今日の夜私たちのおばあちゃんと一緒に和え物料理を (私たちは) 食べて その後で昔話を (私たちは) 聞くんだ。

- 4 チオカイ カナ アッスイ チヌ ルスイ ナ。

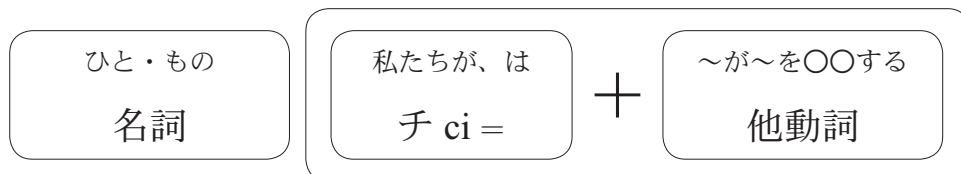
ciokay ka na ar suy ci=nu rusuy na

私たちももう一度 (私たちが) 聞きたいなあ。

(学習内容とポイント)

「私たちが～する」2

例文にある又「～が～を聞く」やエ「～が～を食べる」などは他動詞というタイプの言葉です。これらの動詞の前にチ (ci =) をつけると誰かに向かって「私たちが～を〇〇する」という文になります。「～を」に当たる言葉は前に持ってきます。チと動詞の間には入りません。



ウポポ 「歌」 チ+ヌ 「～を聞く」

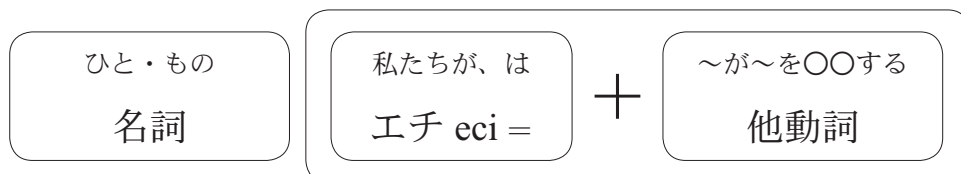
upopo ci= nu → ウポポ チヌ。「私たちは歌を聞く」
upopo ci=nu

自動詞と他動詞の区別はとても難しいので、他動詞はチがついた形で覚えてしまうことをお勧めします。

クやエと同じように、文のなかの動詞すべてにつけ、省略することはできません。

「君たちが～する」

「君たちが～する」という文では、動詞の前に「エチ eci=」をつけます。否定の作り方などのルールは他の場合と同じです。



パシクル エチ + エカツヌ 「～が～を好む」

paskur eci= ekatnu
→ パシクル エチエカツヌ。「君たちはカラスが好きだ」
paskur eci=ekatnu.

ステップ 38 人称について学ぶ 4 「私たちが～する」 ア・アンの使い方

(例文)

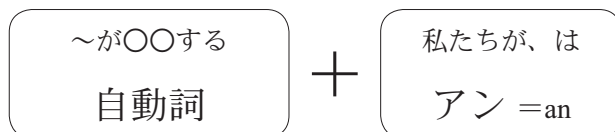
- 1 タント アリキキノ モンライケアン。
tanto arikikino **monrayke=an**.
今日はよく (私たちは) 働いたね。
- 2 トウン アネワ ペライアンワ、ソンノ シンキアンワ。
tun **a=ne** wa **peray=an** wa, sonno **sinki=an** wa.
(私たちは) 二人で (私たちは) 魚釣りをして、本当に (私たちは) くだ
びれたよ。
- 3 チアアオワ ペツ トウラシ サパンワ ソンノ ピリカ。
cip **a=o** wa pet turasi **sap=an** wa sonno pirka.
舟に (私たちは) 乗って川を (私たちは) 下ってとても面白かった。
- 4 トノシキ タ シアママ タク アエワ ケラアンワ。
tonoski ta siamam tak **a=e** wa keraan wa.
お昼におにぎりを (私たちは) 食べておいしかったよ。
- 5 オヤパアン ヤクン、アチャ コロイタオマチ アオルスイナ。
oyapa an yakun, aca kor itaomacip **a=o** rusuy na.
来年になったら、おじさんのイタオマチ アに (私たちは) 乗りたいね。
- 6 ニサッタ チマチェ ポロンノ アカラクス モナサア ナンコロ。
nisatta cimacep poronno **a=kar** kusu **monasap=an** nankor.
明日はたくさん焼き魚を (私たちは) 作るから (私たちは) 忙しいだろう
なあ。

(学習内容とポイント)

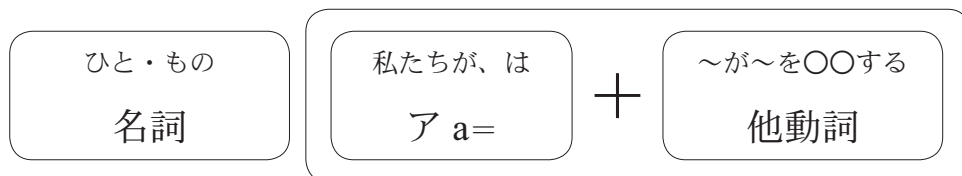
「私たちが～する」3

ステップ 36、37 で学んだ「私たち」を使った表現は、自分たちのことを誰かに話す、つまり話し手と別に聞き手がいる形の文でした。たとえば、砂場で遊んでいる子供のグループに、別のグループが「私たちはすべり台で遊ぶよ」と言うとき、この「私たち」には砂場で遊んでいる子どもたちは入っていません。

これに対し、「私たちみんなでなわとびをしないか」と言った場合には、「私たち」の中に、話し手も聞き手もすべて含まれることとなります。日本語ではどちらも「私たち」ですが、アイヌ語では言葉の形が変わります。自動詞の場合は後ろにアン (=an) を、他動詞の場合は前にア (a=) をつけます。



シノツ 「～が遊ぶ」 + アン → シノツアン。「私たちは遊ぶ」
sinot an sinot=an.



ウポポ 「歌」 ア + ヌ 「～を聞く」
upopo a nu

→ ウポポ アヌ。「私たちは歌を聞く」
upopo a=nu.

アンを読む時は、上の例のように区切って言うことも「シノタン」のようにつなげることもあります。

ステップ 39 単語を覚えよう 8

1	チセ	cise	「家」
2	プ	pu	「倉」
3	セツ	set	「子グマの檻」
4	アパ	apa	「戸」
5	プライ	puray	「窓」
6	ロルンプライ	rorunpuray	「上座の窓（神々が出入りするという窓）」
7	アペソコツ	apeskot	「いろり」
8	イクシペ	ikuspe	「柱」
9	スワツ	suwat	「ろかぎ」
10	アシンル	asinru	「便所」

ステップ 40 言葉あそびで覚えよう 8

◇ アイヌ語かぞえ歌

シネトウレプ	トウレクトウンペ	レイナウル
sine turep	tu rekutunpe	re inawru
1つのウバユリ	2つの首飾り	3つの削りかけ

イネアッケテク	アシクネ イワニ	アイヌイタカニ
ine akketek	asikne iwani	aynuitak ani
4つのほたて	5つのアオダモ	アイヌ語で

イピシキ キヤナニ
ipiski ki yan ani
かずをかぞえてね

イワンアラカシ	アラワントウペプ	トウペサンスネ
iwan arkas	arwan tupep	tupesan sune
6つの片小屋	7つの結び目	8つのたいまつ

シネペサンワンパハカ	ワンシネウエクル	アイヌイタカニ
sinepesan wanpahka	wan sinewekur	aynuitak ani
9つのでぶくろ	10人のおきゃくさん	アイヌ語で

シノッチャキアン ロク
sinotcaki=an rok
みんなでうたってみよう

☆「ひ～とり、ふ～たり、さんにん いるよ♪」で知られている
「10人のインディアン」の節で、アイヌ語数え歌を歌いましょう。
☆歌詞に使ったアイヌ語は、美幌方言が中心となっています。

ステップ 41 数に関する表現 1

1～20までの数え方を紹介します。音声を聞きながら練習してみてください。

	個数
シネ (sine)	シネフ (sinep)
トゥ (tu)	トゥフ (tup)
レ (re)	レフ (rep)
イネ (ine)	イネフ (inep)
アシクネ (asikne)	アシクネフ (asiknep)
イワン (iwan)	イワンペ (iwanpe)
アヲワン (arwan)	アヲワンペ (arwanpe)
トゥペサン (tupesan)	トゥペサンペ (tupesanpe)
シネペサン (sinepesan)	シネペサンペ (sinepesanpe)
ワン (wan)	ワンペ (wanpe)
シネ イカシマ ワン (sine ikasma wan)	シネフ イカシマ ワンペ (sinep ikasma wanpe)
トゥ イカシマ ワン (tu ikasma wan)	トゥフ イカシマ ワンペ (tup ikasma wanpe)
レ イカシマ ワン (re ikasma wan)	レフ イカシマ ワンペ (rep ikasma wanpe)
イネ イカシマ ワン (ine ikasma wan)	イネフ イカシマ ワンペ (inep ikasma wanpe)
アシクネ イカシマ ワン (asikne ikasma wan)	アシクネフ イカシマ ワンペ (asiknep ikasma wanpe)
イワン イカシマ ワン (iwan ikasma wan)	イワンペ イカシマ ワンペ (iwanpe ikasma wanpe)
アヲワン イカシマ ワン (arwan ikasma wan)	アヲワンペ イカシマ ワンペ (arwanpe ikasma wanpe)
トゥペサン イカシマ ワン (tupesan ikasma wan)	トゥペサンペ イカシマ ワンペ (tupesanpe ikasma wanpe)
シネペサン イカシマ ワン (sinepesan ikasma wan)	シネペサンペ イカシマ ワンペ (sinepesanpe ikasma wanpe)
ホツ (hot)	ホツネフ (hotnep)

(学習内容とポイント)

数を表す言葉

アイヌ語の数を言葉はシネ オッチケ「1つの御膳」、シネ エカシ「1人のお爺さん」のように、ものや人を表す名詞と結びつきます。

「もの」を表す「ㇰ」や「ㇱ」をつけると「1つ」「ふたつ」という意味になり、オッチケ シネ ㇰ「御膳ひとつ」といった言い方もできます。「ㇰ」も「ㇱ」も意味は同じです。母音の後には「ㇰ」がつき、子音の後には「ㇱ」がつきます。20を表す「ホツ」だけは、後ろにネを補ってホツネ イタンキ「20個の御椀」や、ホツネㇰ「20個」とします。

10から上の数え方

1から10までは日本語と同じ感覚で使えますが、11以上になるとシネ イカシマワン「1あまる10」、トゥ イカシマワン「2あまる10」のような数え方になります。また「11個」や「12匹のイヌ」などはシネㇰ イカシマワンペ「1個あまる10個」やトゥ セタ イカシマワンセタ「2匹のイヌあまる10匹のイヌ」のように、1の位と10の位の両方に「個」や「イヌ」を補わなければいけません。

ステップ 42 数に関する表現 2

(例文)

- 1 トア^ンクル イワン イリワク ネ クル ネ。
toan kur **iwān** irwak ne kur ne.
あの人は 6(人) 兄弟だ。
- 2 クユピ エキムネクス オマンワ、トゥッコレレコ ホシピカソモキ。
ku=yupi ekimne kusu oman wa, **tutko rerko** hosipi ka somo ki.
私の兄は山に猟にでかけて、2日も 3日も帰って来ない。
- 3 ネア カッケマックヌカ^ンルスイクス、トゥスイカ レスイカ コッチセ
オルンクオマン。
nea katkemat ku=nukar rusuy kusu, **tu suy** ka **re suy** ka kor cise or un ku=oman.
私はあの人に会いたくて、2回も 3回も家に(私は)行ったんだ。
- 4 ナ アッスイ ラッチタラノ イェワエンコレハニ。
na **ar suy** ratcitarano ye wa en=kore hani.
もう一度ゆっくり言ってください。
- 5 イワン コソ^ンテ ウコエクッコロ。
iwān kosonte ukoekutkor.
6枚の着物を羽織る。

(学習内容とポイント)

数え方のいろいろ

「日ート」ーシネト「1日」、トゥト「2日」、レト「3日」…

※「2日も3日も」という決まった表現でトゥッコ、レレコも使う

「年ーパ」シネパ「1年」、トゥパ「2年」、レパ「3年」…

「人ーン (母音の後) / イウ (子音の後)」

シネン (1人)、トゥン (2人)、レン (3人) …

イワニウ (6人)、アラワニウ (7人)、トゥペサニウ (8人) …

「回ースイ」アラスイ「1回」、トゥスイ「2回」、レスイ「3回」…

※1回はシネスイといわずアラ「1つの、片方の」を使う。

その他

「シネーとある～」1の他に「とある～」という意味でも使う。

シネトタ、シネアンタ、シネアントタ (とある日に)

シネコタンタ (とある村に)

シネエカシ (とある老人)

「イワンーたくさん」6の他に「多数の～」の例えとしてよく使われる。

サッパイワンパ マタイワンパ (夏の年6年 冬の年6年)

イワナイヌイキリエポソフチ (6つの世代を通じて生きた老婆)

ステップ43 動詞の単数複数1「ひとりで、おおぜいで～する」

(例文)

- 1 ニサッタ サッポロ コタン ウンシネンネ エオマン ルウエ？
nisatta sapporo kotan un sinenne **e=oman** ruwe?
明日一人で札幌に(君は)行くの？
- 2 ソモ。クユピ ネワ クサハ トウラノ パイエアシ。
somo. ku=yupi newa ku=saha turano **paye=as**.
いや。私の兄さんや私の姉さんと一緒に(私たちは)行くんだ。
- 3 ニサッタ エチホシッパ ルウエ？
nisatta **eci=hosippa** ruwe ?
明日あなたたちは帰るの？
- 4 クアニ ニサッタ クホシピ。
kuani nisatta **ku=hosipi**.
明日の夜に(私は)帰る。
- 5 クユピ ネワ クサハ アナク トウッコ レレコ シラン ヤクン ホシッパ ナンコロ。
ku=yupi newa ku=saha anak tutko rerko siran yakun **hosippa** nankor.
私の兄さんと私の姉さんは2～3日したら帰るでしょう。

(学習内容とポイント)

アイヌ語の動詞は、単数と複数の区別をもつものともたないものに分けることができます。以下の例のように、「～が来る」には単数形(エク)と複数形(アラキ)の区別がありますが、アプカシ「～が歩く」には単数形と複数形の区別はありません。

シネ フチ <u>エク</u> 。 sine huci ek .	フチ ウタラ <u>アラキ</u> 。 huci utar arki
一人のおばあさんが <u>来る</u> 。(単数)	おばあさんたちが <u>来る</u> 。(複数)

シネ フチ アプカシ コロ <u>アン</u> 。 sine huci apkas kor an .	フチ ウタラ アプカシ コロ <u>オカイ</u> 。 huci utar apkas kor okay .
一人のおばあさんが <u>歩いている</u> 。	おばあさんたちが <u>歩いている</u> 。

自動詞の場合、単数と複数の区別をもつ動詞は、ものの存在(「ある」「いる」など)や移動(「行く」「来る」など)に関わる動詞であるといえます。一方、他動詞の場合は、対象となるものの変化(「切る」「殺す」など)に関わる動詞が多いといえます。

アン(単数) / オカ(イ)(複数)「～がある、いる(自動詞)」
オマン(単数) / パイエ(複数)「～が行く(自動詞)」
トゥイエ(単数) / トウイパ(複数)「～が～を切る(他動詞)」
レウエ(単数) / レウパ(複数)「～が～を曲げる(他動詞)」

自動詞の場合、単数と複数の使い分けは主語の数によって決まります(エク / アラキ「～が来る」を用いた上記の例文を参照)。一方、「他動詞の場合、単数と複数の使い分けは、原則として目的語の数によって決まります。

ウンマ ク <u>レス</u> 。 umma ku=resu.	ウンマ ク <u>レシパ</u> 。 umma ku=respa.
馬を私が <u>育てる</u> 。(単数)	(何頭かの)馬を私が <u>育てる</u> 。(複数)

なお、動詞には、単数形と複数形で形が全く変わるもの(アン / オカ(イ)「～がある、いる」など)と、一部のみが変わるもの(トゥイエ / トウイパ「～が～を切る」など)があります。

ステップ44 動詞の単数複数2「ひとりで、おおぜいで～する」完全に形が変わるタイプ

(例文)

- 1 ヌマン クコロ アチャ エクルウエ ネ。
numan ku=kor aca **ek** ruwe ne.
昨日私のおじさんが来たよ。
- 2 エコロ ウナラペ ウタラ アラキ カソモ キルウエ？
e=kor unarpe utar **arki** ka somo ki ruwe?
君のおばさんたちは来なかったの？
- 3 クコロ ウナラペ ウタラ ニサッタ アラキ ハウエ ネ。
ku=kor unarpe utar nisatta **arki** hawe ne.
私のおばさんたちは明日来るようだよ。
- 4 ヌマン クコロ アチャ シネ ユク ライケ。
numan ku=kor aca sine yuk **rayke**.
私のおじさんは昨日シカを1頭捕ったよ。
- 5 タネ パクノ クコロ アチャ ユク ネヤッカ ホイヌ ネヤッカ ロンヌ ルウエ
ネ。
tane pakno ku=kor aca yuk neyakka hoynu neyakka **ronnu** ruwe ne.
私のおじさんはこれまでシカもテンもたくさん捕ってきたんだ。

(学習内容とポイント)

単数と複数で形が異なる動詞

動詞のなかには、単数形と複数形で全く形の異なるものがあります。このようなタイプの動詞は、数は少ないのですが基本的な動詞が多く、個々に記憶する必要があります。

以下に自動詞の例をあげます。

ア a (単数) / ロク rok (複数) 「～が座る」

アン an (単数) / オカ (イ) oka(y) (複数) 「～がある、いる」

アシ as (単数) / ロシキ roski (複数) 「～が立つ」

オマン oman (単数) / パイエ paye (複数) 「～が行く」

エク ek (単数) / アラキ arki (複数) 「～が来る」

オマナン omanan (単数) / パイエカイ payekay (複数) 「～が歩き回る」

以下に他動詞の例をあげます。なお、他動詞の複数形は目的語の複数を表すのが一般的です。

アシ asi (単数) / ロシキ roski (複数) 「～が～を立てる」

ライケ rayke (単数) / ロンヌ ronnu (複数) 「～が～を殺す」

ウク uk (単数) / ウイナ uyna (複数) 「～が～を取る」

ステップ 45 単語を覚えよう 9

- | | | | |
|----|------|--------|--------|
| 1 | ヌプリ | nupuri | 「山」 |
| 2 | ペツ | pet | 「川」 |
| 3 | ト | to | 「湖」 |
| 4 | アトウイ | atuy | 「海」 |
| 5 | ニウシ | niusi | 「森」 |
| 6 | ソ | so | 「滝」 |
| 7 | シララ | sirar | 「岩」 |
| 8 | オタ | ota | 「砂浜」 |
| 9 | ヤ | ya | 「おか、陸」 |
| 10 | レブ | rep | 「沖」 |

ステップ 46 言葉あそびで覚えよう 9

美幌地方

◇ポンチカッポ オイナ（小鳥の歌）

ハンチキサニ アマテ
ピーヨ ウェヌトゥワ
ホシ カシ
カンケ イタニニ
カシ オチャ
キクチン カヨカヨ
コキリリッ

hancikisani amate
piyo wenuwa
hosi kasi
kanke itanini
kasi oca
kikucin kayokayo
kokiririt

☆ この歌はポンパケクンネ「ヒガラ」という小鳥のにぎやかなさえずりを表現したものです（「知里真志保ノート（北海道立文学館所蔵）」の記述による）。それぞれの単語の意味ははっきりとしません。

☆ 注：この歌の収録にあたって、「久保寺逸彦録音資料（北海道立図書館所蔵）」を参照しました。

ステップ47 動詞の単数複数3「ひとりで、おおぜいで~する」「ン」から「フ」に変わるタイプ

(例文)

- 1 クユピ ポロ シケ セ ワ チセ オシケ タ アフン。
ku=yupi poro sike se wa cise oske ta **ahun**.
私の兄が大きな荷物を持って家の中に入って来た。
- 2 クユピ ネワ クコロ アチャ ポロ シケ セ ワ チセ オシケ タ アフフ。
ku=yupi newa ku=kor aca poro sike se wa cise oske ta **ahup**.
私の兄と私のおじが大きな荷物を持って家の中に入ってきた。
- 3 シネ メコ リキン ワ ストーブ コッチャ タ アワ アン。
sine meko **rikin** wa ストーブ kotca ta **a** wa **an**.
一匹のネコが上がってきてストーブの前に座っている。
- 4 クンネ メコ レタラ メコ リキフ ワ ストーブ コッチャ タ ロクワ オカイ。
kunne meko retara meko **rikip** wa ストーブ kotca ta rok wa okay.
黒いネコと白いネコが上がってきてストーブの前に座っている。
- 5 イセポ シネ フ キム ワ サン コロ アン。
isepo sine p kim wa **san** kor an.
ウサギが1羽山から下がっている。
- 6 ポン イセポ ポロ イセポ キム ワ サフ コロ オカイ。
pon isepo poro isepo kim wa **sap** kor **okay**.
小さなウサギと大きなウサギが山から下りている。

(学習内容とポイント)

ン -n で単数形、プ -p で複数形がつくられる動詞

動詞のなかには動詞の語幹の後ろにン -n を付けて単数形をつくるものがあります。そのような動詞では、語幹の後ろにプ -p を付けて複数形がつくられます。

このようなタイプの動詞は、ほとんどが移動の意味を表わす自動詞に限られています。以下に例をあげます。

アフン ahu-**n** (単数) / アフプ ahu-**p** (複数) 「入る」

ラン ra-**n** (単数) / ラプ ra-**p** (複数) 「下る」

サン sa-**n** (単数) / サプ sa-**p** (複数) 「(川に沿って) 下る」

リキン riki-**n** (単数) / リキプ riki-**p** (複数) 「上る」

ヤン ya-**n** (単数) / ヤプ ya-**p** (複数) 「上陸する」

ステップ 48 動詞の単数複数 4 「ひとりで、おおぜいで～する」母音がパに変わるタイプ

(例文)

- 1 アチャ ホユプ。
aca **hoyupu**.
おじさんが走る。
- 2 アチャ カラク トウラノ ホユツパ。
aca karku turano **hoyuppa**.
おじさんが甥っ子と一緒に走る。
- 3 マキリ アリ チエノクトウイエ。
makiri ari ciep **ku=tuye**.
小刀で魚を(私は)切った。
- 4 マキリ アリ チエノクトウイパ。
makiri ari ciep **ku=tuypa**.
小刀で(何度も)魚を(私は)切った。

(学習内容とポイント)

母音で単数形、パ -pa で複数形がつくられる動詞

動詞のなかには動詞の語幹の後ろに母音を付けて単数形をつくるものがあります。そのような動詞では、語幹の後ろにパ -pa を付けて複数形がつくられません。

このタイプの動詞は比較的多数みられます。自動詞の例を以下にあげます。

ホトウイエ hotuy-**e** (単数) / ホトウイパ hotuy-**pa** (複数) 「～が叫ぶ」

ホブン hopun-**i** (単数) / ホブンパ hopun-**pa** (複数) 「～が起きる」

ホシピ hosip-**i** (単数) / ホシッパ hosip-**pa** (複数) 「～が帰る」

ホユプ hoyup-**u** (単数) / ホユッパ hoyup-**pa** (複数) 「～が走る」

他動詞の例を以下にあげます。なお、他動詞の複数形は、目的語の数を表わすのが一般的です。

トウイエ tuy-**e** (単数) / トウイパ tuy-**pa** (複数) 「～が～を切る」

ヤサ yas-**a** (単数) / ヤシパ yas-**pa** (複数) 「～が～を裂く」

メス mes-**u** (単数) / メシパ mes-**pa** (複数) 「～が～を剥ぐ」

アニ an-i (単数) / アンパ an-**pa** (複数) 「～が～を持つ」

スイエ suy-e (単数) / スイパ suy-**pa** (複数) 「～が～を揺らす」

ステップ 49 単語を覚えよう 10

- | | | | |
|----|--------|----------|---------|
| 1 | トカプチュブ | tokapcup | 「太陽」 |
| 2 | クンネチュブ | kunnecup | 「月」 |
| 3 | ニシクル | niskur | 「雲」 |
| 4 | ニシ | nis | 「空」 |
| 5 | ノチウ | nociw | 「星」 |
| 6 | アプト | apto | 「雨」 |
| 7 | レラ | lera | 「風」 |
| 8 | ウパシ | upas | 「雪」 |
| 9 | カムイフム | kamuyhum | 「雷」 |
| 10 | シリピリカ | sirpirka | 「天気が良い」 |

ステップ 50 言葉あそびで覚えよう 10

幌別地方

- ◇目に入ったごみをとるときのとなえごと
- | | |
|----------------|----------------|
| シントコ レンレン | チカッポ レンレン |
| sintoko renren | cikappo renren |
| 行器 沈め沈め | 小鳥 沈め沈め |
-
- | | |
|----------------|----------------|
| シントコ レンレン | チカッポ レンレン |
| sintoko renren | cikappo renren |
| 行器 沈め沈め | 小鳥 沈め沈め |

☆目に入ったごみを行器（ほかい）と小鳥に例えたとなえごとです。

沙流地方

- ◇目に入ったごみをとるときのおまじない
- | | |
|---------------------|--------------------|
| ポンピサック モムモム | ポンオンタロ モムモム |
| pon pisakku mom mom | pon ontaro mom mom |
| 小さな柄杓 流れろ流れろ | 小さな樽 流れろ流れろ |
-
- | |
|---------------------|
| ポンピサック モムモム |
| pon pisakku mom mom |
| 小さな柄杓 流れろ流れろ |

☆目に入ったごみを柄杓と樽に例えたおまじないです。目にごみが入った子供を寝かせて膝枕をし、目元に指で水をつけながら、これをとなえると、やがてごみは流れてしまいます。

☆このステップのとなえごとを収録するにあたり日本放送協会『アイヌ伝統音楽』を参照しました。

ステップ51 「どうぞ～なさい」丁寧な命令文

(例文)

- 1 ヘタク ホプニ。
hetak **hopuni**.
早く起きろ。
- 2 ヘタク ホブンパヤン。
hetak **hopunpa yan**.
早く起きてください。
- 3 ホクレ オマン。
hokure **oman**.
さあ行け。
- 4 ヤイトウパレノ パイエヤン。
yaytupareno **paye yan**.
気をつけてお行きなさい。
- 5 エテウン エク。
eteun **ek**.
こちらへ来い。
- 6 エテウン アラキヤン。
eteun **arki yan**.
こちらへ来なさい。
- 7 エカシ アラソケ タ ア。
ekasi arsoke ta **a**.
おじいさんの向かいに座れ。
- 8 エカシ アラソケ タ ロクヤン。
ekasi arsoke ta **rok yan**.
おじいさんの向かいに座りなさい。

(学習内容とポイント)

丁寧な命令の表現

アイヌ語では、動詞をそのまま使って命令の表現をつくることができます。

イペ。 ヌカラ。

ipe. nukar.

食べろ。 見ろ。

ただし、このように動詞をそのまま用いた命令の表現は、「丁寧ではない」という印象を与えることがあります。そこで、文末にヤン yan という言葉を付けると、丁寧な命令の表現となります。

イペヤン。 ヌカラヤン。

ipe yan. nukar yan.

食べなさい。 見なさい。

動詞の複数形を用いた丁寧な命令表現

単数と複数の区別のある動詞では、複数の形とヤン yan を組み合わせることで、丁寧な命令の表現がつけられます。

パイエヤン。 ×アラパヤン。

paye yan.

行きなさい。 行きなさい。

アラキヤン。 ×エクヤン。

arki yan.

来なさい。 来なさい。

ステップ 52 人称について学ぶ 5 「私を～」 「私たちを～」 エン・ウンの使い方

(例文)

- 1 ナム ワッカ エンクレ。
nam wakka **en=kure**.
冷たい水を (私に)飲ませてください。
- 2 クコロ アチャ ピリカ マキリ トウ ウンコレ。
ku=kor aca pirka makiri tu p **un=kore**.
私のおじさんが良いマキリを2つ (私たちに)くれた。
- 3 ししまい エンコエクワ エンクパパ。
ししまい **en=koek** wa **en=kupapa**.
ししまいが (私に)向かってやってきて私をかじった。
- 4 コッコトノ ウンホトウイエカラ。
kokkotonno **un=hotuyekar**.
警察官が 私たちを呼んだ。
- 5 クユピ エンラライパ。
ku=yupi **en=raraypa**.
私の兄が 私をなでた。
- 6 アチャ ウノマフワ ウンレシパ。
aca un=omap wa un=respa.
おじさんが 私たちを かわいがって(私たちを)育てた。

ステップ 53 人称について学ぶ 6 「君を～」 「君たちを～」 エ・エチの使い方

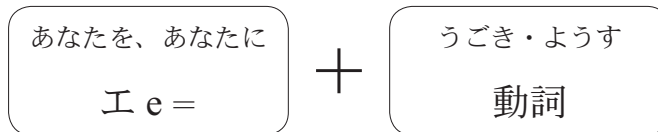
(例文)

- 1 ネ ウナラペ オッタ エオマン ヤクネ、エヌヌケ ナンコロ。
ne unarpe or ta e=oman yakne, **e=nunuke** nankor.
あのおばさんの所へ (君が) 行ったら、おばさんは君を大事にするだろう。
- 2 ネ ウナラペ オッタ エチパイエ ヤクネ、エチヌヌケ ナンコロ。
ne unarpe or ta eci=paye yakne, **eci=nunuke** nankor.
あのおばさんの所へ (君たちが) 行ったら、君たちを大事にするだろう。
- 3 イミ ネヤッカ ソン ノ ピリカ ヒケ エミレ、イペ ネヤッカ ピリカイペ エ
エレ ナンコロ。
imi ne yakka sonno pirka hike **e=mire**, ipe ne yakka pirka ipe **e=ere** nankor.
着る物でも本当に良い物を (君に) 着せ、食べ物でも美味しい物を君に食
べさせるだろう。
- 4 イミ ネヤッカ ソン ノ ピリカ ヒケ エチミレ、イペ ネヤッカ ピリカ イペ
エチエレ ナンコロ。
imi ne yakka sonno pirka hike **eci=mire**, ipe ne yakka pirka ipe eci=ere nankor.
着る物でも本当に良い物を (君たちに) 着せ、食べ物でも美味しい物を君
たちに食べさせるだろう。

(学習のポイント)

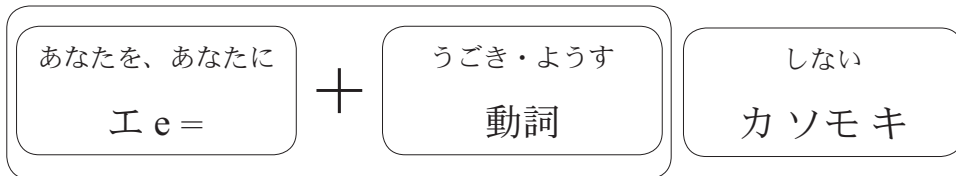
「あなたを(に) ~する」の言い方

「あなたを(に) ~する」と表現する場合には、エ e=「あなたを(に)」という目的格の人称接辞を動詞の前に付けます。目的格の人称接辞エ e=は、主格の人称接辞(エ e=「あなたが」)と形の上では同じです。



エ + ヌカラ「~を見る」 → エヌカラ。「あなたを見る」
 e= nukar e=nukar.

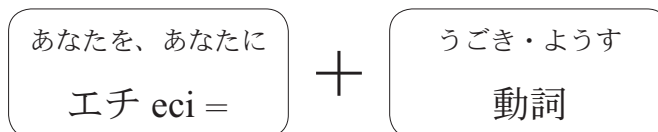
否定の文にしたいときは、動詞の後ろに「カソモキ」をつけます。エの前に「ソモ」をつける方法もあります。



エヌカラカソモキ。「あなたを見ない」
 e=nukar ka sono ki.

「君たちを(に) ~する」の言い方

「君たちを(に) ~する」と表現する場合には、エチ eci=「あなたたちを(に)」という目的格の人称接辞を動詞の前に付けます。目的格の人称接辞エチ eci=は、主格の人称接辞(エチ eci=「あなたたちが」)と形の上では同じです。なお、否定の作り方などのルールは「あなたを(に)」の場合と同じです。



エチ + テレ「~を待つ」 → エチテレ。「君たちを待つ」
 eci= tere eci=tere.

ステップ 54 「私のところに」「君のそばに」 位置名詞と人称

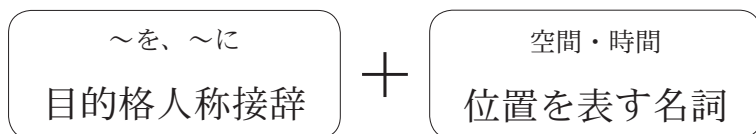
(例文)

- 1 クアムキリ ヘカチ エノルン ホユプワ エク。
ku=amkiri hekaci **en=or un** hoyupu wa ek.
私知っている子供が私の方に走ってきた。
- 2 クアニカ エチオシマケ タクア ヤッカ ピリカ？
kuani ka **eci=osmake** ta ku=a yakka pirka ?
私も君たちの後ろに (私が) 座ってもいいかい？
- 3 セタ エンコツチャケ クシワ オマン。
seta **en=kotcake** kus wa oman.
イヌが私の前を通って行った。
- 4 エンサム タアラキワ ロクヤン。
en=sam ta arki wa rok yan.
私の側に来て座りなさい。

(学習のポイント)

目的格人称接辞を用いた位置関係の表現

人称接辞の目的格（「私を」、「君を」など）は、「私の前」、「君の後ろ」などのように、位置関係を示す表現にも使われます。その場合、位置を表す名詞の前に、目的格の人称接辞が付けられます。



エン「私を（に）」＋コッチャケ「前」→エンコッチャケ「私の前」
en= kotcake en=kotcake

以下に例をあげます。

セタ エンコッチャケ タ エク。

seta en=kotcake ta ek.

イヌが私の前に来た。

メコ エオシマケ タ アン。

meko e=osmake ta an.

ネコが君の後ろにいる。

セタ ウンコッチャケ タ エク。

seta un=kotcake ta ek.

イヌが私たちの前に来た。

メコ エチオシマケ タ アン。

meko eci=osmake ta an.

ネコが君たちの後ろにいる。

なお、位置関係を示す場合には、以下のように、「私が」、「君が」のような主格の人称接辞を使うことはできませんので注意が必要です。

×セタ クコッチャケ タ エク。

イヌが私の前に来た。

×セタ チコッチャケ タ エク。

イヌが私たちの前に来た。

ステップ 55 単語を覚えよう 11

1	カムイノミ	kamuynomi	「お祈り」
2	シンリッ オルン イチャラパ	sinrit orun icarpa	「先祖供養」
3	ヌサ	nusa	「祭壇」
4	イクパスイ	ikupasuy	「御神酒の箸」
5	イナウ	inaw	「木幣」
6	オンカミ	onkami	「拝礼」
7	トノト	tonoto	「酒」
8	トゥキ	tuki	「杯」
9	イヨマレ	iyomare	「お酌」
10	キナソツカラ	kinasokkar	「模様入りのゴザ」

ステップ 56 言葉あそびで覚えよう11

十勝地方

◇数のかけ合いあそび

先手	後手
タンペイエ！	ネツタナ！？
tanpe ye！	nep tan a！？
これを言え！	なんだ！？

ニシポ！	ニシポ！
nispo！	nispo！
ひとつ(？)	ひとつ(？)

トゥッポ！	トゥッポ！
tuppo！	tuppo！
ふたつ！	ふたつ！

レッポ！	レッポ！
reppo！	reppo！
みつつ！	みつつ！

カナクン！	タペスン！
kanakun！	tapesun！
きまってらあ！	そうだろ！

☆十勝地方のいろり端での遊びです。いろりに棒を1本立て、少し離れたところには2本、もう少し離れて3本立てます。2人の子どもがそれを挟むように向きあい、上のかけ合いをします。先手が「タンペイエ！」と言って、後手が「ネツタナ！？」と答えます。すると先手は3か所の棒のどれかを指差しながらその数を言います。後手は同じ数を言わなければいけません。これだけですが以外に難しい遊びです。

いろりが無くとも、言葉のかけあいだけで楽しめます。

☆この遊びを収録するにあたり日本放送協会『アイヌ伝統音楽』を参照しました。

ステップ 57 「いつ？」の聞き方

(例文)

- 1 エチペライ クス ヘンパラ エチパイエルウェ アン？
eci=peray kusu **hempara** eci=paye ruwe an?
いつ君たちは釣りに(君たちは)行ったの？
- 2 ホシキヌマン パイエアシルウェウン。トキカラ ポロンノ チペライカンナ。
hoskinuman paye=as ruwe un. tokikar poronno ci=peraykar na.
一昨日(私たちは)行ったよ。ワカサギをたくさん(私たちは)釣ったよ。
- 3 ヘンパラ エホシピ ルウェアン？
hempara e=hosipi ruwe an?
いつ(君は)帰ったの？
- 4 クアニ アナクネ クンネホユプ バス クオ ワ タン クンネワノ クホシピ ナ。
クユピ アナクネ 阿寒オッタ アンワ。
kuani anakne kunne hoyupu バス ku=o wa tan kunnewanano ku=hosipi na. ku=yupi anak na 阿寒 or ta an wa.
私は夜行バスに(私は)乗って(私は)今朝帰ったよ。私の兄さんはまだ阿寒にいるよ。
- 5 エユピ ヘンパラ ホシピ ルウェ アン？
e=yupi **hempara** hosipi ruwe an?
君の兄さんはいつ帰るの？
- 6 ニサッタ ホシピ クナク イエルウェ ウン。
nisatta hosipi kunak ye ruwe un.
明日帰るといったた。

(学習内容とポイント)

「いつ」

「いつ」ということを聞くときには、ヘンパラを使います。ヘンパラは動作や様子の変化がいつ起こったのかを聞くもので、文の中では動詞よりも前に置きます。

ヘンパラ エエク?

hempara e=ek?

いつ 君は来た?

「だれ」「いつ」「どこ」「なに」「どのように」などを問う文で、ルウェを使った問いかけをする場合は、後ろにアンをつけます。

ヘンパラ エエクルウェ アン?

hempara e=ek ruwe an?

いつ 君はきたのだ?

「いつか」「いつまで」

おなじ「いつ」に当たる言葉でも「いつか」や「いつまでも」といった場合は、時間的な位置を特定しません、このような不定の意味でいう「いつ」にはネイ ney も使います。後ろにパクやカなどをそえて使います。

ヘンパラ カ エエラマン ナンコロ。

hempara ka e=eraman nankor.

いつか 君はわかる だろう。

ネイパク エモコロ?

ney pak e=mokor?

いつまで君は寝る?

ステップ 58 「だれが？」の聞き方

(例文)

- 1 タンノカ ネン ヌイエ ルウェアン？
tan noka **nen** nuye ruwe an?
この絵は誰が描いたの？
- 2 クサハ ヌイエ プネルウェウン。
ku=saha nuye p ne ruwe un.
私の姉さんが描いたんだ。
- 3 テタ アヌイエ ワアン ヘカチ ネン ネルウェアン？
teta a=nuye wa an hekaci **nen** ne ruwe an?
ここに描いてある子供は誰だい？
- 4 クネルウェウン。
ku=ne ruwe un.
私だよ。
- 5 ソンノ エポニタ ヌイエ ノイネ シラン。
sonno e=pon hi ta nuye noyne siran.
ずいぶん (君が) 小さい頃に描いたんだね。

(学習内容とポイント)

「誰」

「誰が～した」ということを聞くときには、ネンを使います。普通の文の「～が」にあたる箇所をネンにします。フンナも同じように使えます。

クサハノカヌイエ。

ku=saha noka nuye.

私の姉が絵を描いた。

フンナノカヌイエ?

hunna noka nuye?

誰が絵を描いた?

「～は誰だ」という文は、「ネンネ?」「フンナネ?」の2通りの聞き方があります。

トアンクルネンネ?

toankur nen ne?

あの人誰だ?

タンオッカイポフンナネ?

tan okkaypo hunna ne?

この若者誰だ?

「誰か」

「誰か」「誰でも」のような不特定の「誰」には「ネン」を使います。

ネンカ ネンネヤッカ

nen ka nen neyakka

誰か 誰でも

ステップ 59 「どこで?」「どこへ?」「どこから?」の聞き方

(例文)

- 1 エコロ アチャ ネワ エククルネ ハウエ アン?
e=kor aca **ne wa** ek kur ne hawe an?
君のおじさんはどこから来た人なの?
- 2 様似タ ヘトゥクワ、ナ ポニタ 帯広ウン オマン ノイネ クラム。
様似 ta hetuku wa, na pon hi ta 帯広 un oman noyne ku=ramu.
様似で生まれて、小さい時に帯広に行ったように(私は)思う。
- 3 エコロ アチャ ネイタ ホリピ エラマン ハウエ アン?
e=kor aca **ney ta** horipi eraman hawe an?
君のおじさんはどこで踊りを覚えたの?
- 4 帯広タ キ ハウエネ。コロカ タネ ネア アチャ イサム。
帯広 ta ki hawe ne. korka tane nea aca isam.
帯広だって。でももうそのおじさんはいないよ。
- 5 ネウン オマン?
neun oman?
どこへ行ったの。
- 6 ボリビア オッタ コタンコンルウェ ネ。
ボリビア or ta *kotankor* ruwe ne.
ボリビアに住んでるんだ。

(学習内容とポイント)

どこで、どこへ、どこから

「どこで～する」というときの「どこ」は、ネまたはネイを使います。これに「タ(～で)」、「ウン(～へ)」、「ワ(～から)」をつけて「どこで」「どこへ」「どこから」を表します。

ボンメコ ネイ タ アン?

pon meko ney ta an?

ちびネコ どこにいる?

ボンメコ ネウン オマン?

pon meko neun oman?

ちびネコ どこへ行った?

ボンメコ ネワ エク?

pon meko ne wa ek?

ちびネコ どこから来た?

「どこかへ」「どこかで」

「どこかへ」、「どこかで」のような不特定の場所は「ネイ」に「タ(～で)」、「ウン(～へ)」、「ワ(～から)」をつけて表します。

ネイタ ネヤッカ クモコロ エアシカイ。

ney ta neyakka ku=mokor easkay.

どこででも私は寝られる。

ネウン(ネユン) エオマン ヤッカ イテキ エンオイラ。

neun(neyun) e=oman yakka iteki en=oyra.

どこへ(君が)行っても決して私を忘れるな。

ウナラペ ネイワ エク クル ネヤッカ イペレ。

unarpa neywa ek kur neyakka ipere.

おばさんはどこから来た人であっても食事を与えた。

ステップ 60 「なに?」「いくつ?」の聞き方

(例文)

- 1 ネプ エエルスイ?
nep e=e rusuy?
何が (君は) 食べたい?
- 2 ネプ ネヤッカ ピリカ コロカ、ニカオプクエルスイ。
nep ne yakka pirka korka, *nikaop* ku=e rusuy.
何でもいいけど、フルーツが (私は) 食べたいな。
- 3 ミカン ネヤクン アンナ。 ヘンパク ペ エエ?
ミカン ne yakun an na. **hempak** pe e=e?
ミカンならあるよ。 いくつ (君は) 食べる?
- 4 ヘンパク ペ アンハウエアン?
hempak pe an hawe an?
いくつあるの?
- 5 クミチ シネ スウォプパクノ アンペ ホクワ エックス、ポロンノ アンナ。
ku=mici sine suwop pakno an pe hok wa ek kusu,poronno an na.
私の父さんが一箱買ってきたから、たくさんあるよ。
- 6 ハウエ ネヤクン、レプエネレ。
hawe ne yakun, re p en=ere.
じゃあ、3つ (私に) ちょうだい。
- 7 ホクレ。エ ハニ。
hokure. e hani.
さあ。どうぞ。

(学習内容とポイント)

「何が」と「何でも」

「何がほしい？」などと聞く場面では「ネプ」を使います。幌別方言ではヘマンタ hemanta も使われ、ネプと同じような働きをします。

ネプ エコンルスイ？

nep e=kor rusy?

何(君は)欲しい？

カンピクコンルスイ。

kampi ku=kor rusuy.

紙(私は)欲しい。

「何でもいい」「何もない」のような不定の「何」も「ネプ」を使います。

ネプネヤッカピリカ。

nep ne yakka pirka.

何でもいい。

ネプカイサム。

nep ka isam.

何もない。

「いくつの」

「何個」、「何日」、「何人」などは、「いくつの」を意味する「ヘンパク」と、その物を表す言葉の組み合わせで表現します。

ヘンパクペ ヘンパクト ヘンパクスイ

hempak pe hempak to hempak suy

いくつのもの いくつの日 いく度

ステップ 61 単語を覚えよう 12

1	アツ	at	「オヒョウの繊維」
2	ニペシ	nipes	「シナの繊維」
3	シキナ	sikina	「ガマ」
4	カ	ka	「糸」
5	カタク	katak	「糸玉」
6	カニツ	kanit	「糸より台」
7	イテセニ	iteseni	「ゴザ編み台」
8	ピツ	pit	「ゴザ編みの石」
9	ケム	kem	「針」
10	アットウシカラベ	attuskarpe	「機織り機」

ステップ 62 言葉あそびで覚えよう 12

◇アイヌ語版「うさぎとかめ」美幌方言

エヌエヌ エチンケエチンケさん モシッソ カシケタ エアッカリ
 e=nu e=nu ecinke ecinke さん mosir so kaske ta e=akkari
 「もしもし かめよ かめさんよ せかいのうちに おまえほど

アツカシ モイレッオアラリサム ネクス パクノ エモイレ カ?
 apkas moyre p oararisam nekusu pakno e=moyre ka?
 あゆみの のろい ものはない どうして そんなに のろいのか」

ネコンエイエハウエ イソポさん ハウエネ チキ ウトゥラノ ウトウシマカン
 nekon e=ye hawe isopo さん hawe ne ciki uturano utusmak=an
 「なんと おっしゃる うさぎさん そんなら おまえと かけくらべ

トゥアンヌプリ チンケウポク パクノ インキアングル ホシキノ コシレパカ
 tu' an nupuri cinkew pok pakno inkian kur hoskino kosirepa ka
 むこうの 小山の ふもとまで どちらが さきに かけつくか」

エチンケ ヤイキマテッカ ヤッカ シリクンネ パクノ キナンコロ
 ecinke yaykimatekka yakka sirkunne pakno ki nankor
 「どんなに かめが いそいでも どうせ ばんまで かかるだろう

テオッタ ポンノ クモコッソ
 te or ta ponno ku=mokor so
 ここらで ちょっと ひとねむり」
 ぐーぐーぐーぐー ぐーぐーぐー
 ぐーぐーぐーぐー ぐーぐーぐー

クモコロ カス アッチャカチャー ピョンピョンピョンピョンピョンピョンピョン
 ku=mokor kasu atcakaca ピョンピョンピョンピョンピョンピョンピョン
 「これは ねすぎた しくじった」 ピョンピョンピョンピョンピョンピョンピョン

エイコシテッコ エモイレ ナ ヤヨモンヌレ エキ コロカイ
 eykostekko e=moyre na yayomonnure e=ki korkay
 「あんまり おそい うさぎさん さっきの じまんは どうしたの」

(アイヌ語訳：平成 21～23 年度アイヌ文化担い手育成事業 講師・受講者)

ステップ 63 「なぜ？」 「どのように？」 の聞き方

(例文)

- 1 ネプクス イペルスイアン ペアン？
nep kusu iperusuy=an pe an?
どうしておなかがへるのかな？
- 2 イペルスイカムイ アリアイエ カムイ アン ヤカイエ。
iperusuykamuy ari a=ye kamuy an yak a=ye.
イペルスイカムイっていうカムイがいるんだって。
- 3 ネプクス ネノ アン カムイ アン ハウエ アン？
nep kusu neno an kamuy an hawe an?
どうしてそんなカムイがいるの？
- 4 ウワ。アッテエタ ワノ アン ナンコロ。
uwa. ar teeta wa no an nankor.
知らない。ずっと昔からいるんでしょ。
- 5 ネコン クイキ ヤクンクイペルスイ ソモ キナンコラ。
nekon ku=iki yakun ku=iperusuy somo ki nankor ya.
どう(私が)したらおなかがへらないようになるだろか。

(学習内容とポイント)

「なぜ」

「なぜ」は、「ネフ」と理由あらわす「クス」の組み合わせで表します。千歳や沙流、鶴川などの地域ではヘマンタという形が使われます。樺太の言葉ではヘマタクスとなります。

ネフクス イナウ アカン ルウェアン？

nep kusu inaw a=kar ruwe an?

なぜ 木幣を (人が) つくるの？

「どのように」

「どのように」を問うには「ネコン」を使います。下の文は「何してる？」と聞くときに使える文です。

ネコン エイキ ルウェアン？

nekon e=iki ruwe an?

どのように (君が) しているのだ？

不定の意味の「どのように」にはネウンを使います

ネウンクイエ ヤッカ エミナ カソモキ。

neun ku=ye yakka e=mina ka somo ki.

どのように (私が) 言っても 君は笑わない。

ステップ 64 「すごいなあ！」の言い方 感嘆文

(例文)

- 1 タンメコソンノポロルウエ!
tan meko sonno poro **ruwe!**
このネコ大きくなったねえ!
- 2 ピリカチエパテックスウェワクエレルウエネクス。
pirka ciep patek ku=suwe wa ku=ere ruwe ne kusu.
良い魚ばかり(私は)煮て(私は)食べさせてるから。
- 3 ポンノクサツケソ。イヨハイ!ケラアンフミ!
ponno ku=sapke so. iyohay! keraan **humi!**
ちょっと(私が)味見してみよう。すごい!おいしいねえ!
- 4 メコアッカリイペシリウエンペエネルウエ!
meko akkari ipe siri wen pe e=ne **ruwe!**
ネコより行儀が悪い人だね!
- 5 ネンシノッチャキハウエネナンコラ。アヤポハウエピリカフミ!
nen sinotcaki hawe ne nankor ya. ayapo hawe pirka **humi!**
誰が歌ってるんだろう。いやあ、いい声だなあ。
- 6 ソンノハウエピリカ。アウタウナラペコロオウムシノッチャキフミウン。
sonno hawe pirka. awta unarpe kor オウム sinotcaki humi un.
ほんとうにいい声だ。隣のおばさんのオウムが歌ってるんだよ。
- 7 イラムキッタ!オウムハウエネハウエ!?
iramkitta! オウム hawe ne **hawe!?**
おどろいた!オウムの声なの?

(学習内容とポイント)

「～だなあ！」

問いかけの文などで、文の終わりに使う「ルウエ」、「ハウエ」、「シリ」、「フミ」などは、驚きの感情を表す時にも使われます。文の終わりにこれらをつけることで、日本語にすると「なんとまあ～だこと」という文になります。

簡単にいうと次のような使い分けがあります。

ハウエ：話に出たこと事に対して

ピリカ オルシペ ネハウエ！

pirka oruspe ne hawe!

「すてきな話だこと！」

シリ：目の前で起こっている事に対して

ピリカノ アヌイエ シリ！

pirkano a=nuye siri!

「見事に彫刻されてること！」

フミ：人の声以外の音や感覚に対して

タンサランベソンノ リテンフミ！

tan sarampe sonno riten humi!

「この布本当に柔らかいこと！」

ルウエ：上の3つをふくめ、話し手が事実だと考えていることに対して

タンシプシケナイペオノルウエ！

tan sipuskep ipe ono ruwe!

「このいなきびの実良く入っていること！」

ステップ65 人称について学ぶ7 「～なさる」「～していらっしゃる」 人称による敬称表現

(例文)

- 1 ウナラペ、イワンケノ オカヤナルウエ?

unarpe, iwanke no **okay=an** a ruwe?

おばさん、お元気でいらっしやいましたか。

アレス オウム クヌカンスイナ。クアフン ヤッカ ピリカ?

a=resu オウム ku=nukar rusuy na.ku=ahun yakka pirka?

あなたの育てていらっしゃるオウムを(私は)見たいんです。(私が)入ってもいいですか?

- 2 ピリカワ。ヘタク、アフンワヌカラヤン。

pirka wa. hetak, ahun wa nukar yan.

いいとも。さあ、入ってごらん。

- 3 ポロ オウム ネルウエ! ペウレアニワノ アレスルウエ?

poro オウム ne ruwe! **pewre=an** hi wano **a=resu** ruwe?

大きいオウムだなあ!(あなたが)お若いころから(あなたが)飼っていらっしやるんですか?

- 4 クペウレヒタ、大阪オッタクアンラポクタシットウライヌワエクペネクス、オラノクレスコロクアンルウエウン。

ku=pewre hi ta,大阪 or ta ku=an rapok ta sitturaynu wa ek pe ne kusu, orano ku=resu kor ku=an ruwe un.

私が若いころに、大阪に(私が)いた時に迷子になって来たので、それから(私が)育てて(私は)いるんだ。

(学習内容とポイント)

敬称表現

アイヌ語にも敬語の表現があります。動詞や名詞に、エ e= でなくア a= またはアン =an をつけることで「貴方は、貴方が、貴方の」という意味になります。また、このとき単数と複数で動詞の形の違いがあれば、複数形にします。

エアン。

e=an.

君がいる。

オカヤン。

okay=an.

貴方がいらっしゃる。

ソ エヌカラ。

so e=nukar.

滝を君が見る。

ソ アヌカラ。

so a=nukar.

滝を貴方がごらんになる。

「エヌカラ(君が見た)」という文章は、その動作をしたのが「君」であるということをはっきりと表示しています。日本語でも「君見た？」という言い方は、さしせまったぶしつけな印象を与えます。「君」をはぶいて「見た？」というだけでかなり柔らかい表現になります。さらに動詞の方を「ごらんになった」という形にすると、より丁寧になりますが、これは「誰の行為なのか」がよりあいまいになったということでもあります。

アイヌ語の敬語も、行為の主体をぼかすことによって敬意を表す方法で作られています。ただし、主体をぼかすために動詞に何もつけないと3人称になってしまいます。そこで、アやアンを使って、話し手も聞き手も世間一般をも指すような言い方をします。

ステップ 66 単語を覚えよう 13

- | | | |
|----------|------------|---------|
| 1 ユカラ | yukar | 「英雄叙事詩」 |
| 2 レプニ | repni | 「拍子木」 |
| 3 カムイユカラ | kamuyyukar | 「神謡」 |
| 4 サケヘ | sakehe | 「折節」 |
| 5 ウウエペケレ | uwepeker | 「散文説話」 |
| 6 ヤイサマ | yaysama | 「即興歌」 |
| 7 イフンケ | ihunke | 「子守歌」 |
| 8 ウポポ | upopo | 「座り歌」 |
| 9 リムセ | rimse | 「踊り」 |
| 10 タプカラ | tapkar | 「男性の踏舞」 |

ステップ 67 言葉あそびで覚えよう 13

◇人称接辞の歌（「ドレミの歌」の節で）

クは私の ku= エはあなたの e= eci=（エチ）あなたたち
 ci=（チ）はてまえども =as（アシ）は自動詞に a=（ア）は一般に
 =an（アン）は敬称も en=（エン）un=（ウン）e=（エ）eci=（エチ）i=（イ）

☆歌って人称接辞の役割を覚えてしまいましょう。（作成：北原次郎太）

ク	ku=	1 人称単数主格	動詞について「私は、私が」 名詞について「私の」
エ	e=	2 人称単数主格	動詞について「君は、君が」 名詞について「君たちの」
エチ	eci=	2 人称複数主格	動詞について「君たちは、君たちが」 名詞について「君たちの」
チ	ci=	除外的1人称 複数主格	他動詞について 「(相手を含まない) 私たちは、私たちが」 名詞について「私たちの」
アシ	=as	除外的1人称 複数主格	自動詞について 「(相手を含まない) 私たちは、私たちが」
ア	a=	不定人称主格	不定人称主格 他動詞について 「(相手を含む) 私たちは、私たちが」 「一般に人は、人が」 「(敬称表現の際に) あなたは、あなたが」 名詞について「(相手を含む) 私たちの」
アン	=an	不定人称主格	自動詞について「(相手を含む) 私たちは、私 たちが」「一般に人は、人が」 「(敬称表現の際に) あなたは、あなたが」
エン	en=	1 人称単数目的格	他動詞について「私に、私を」
ウン	un=	1 人称複数目的格	他動詞について「私たちに、私たちを」
エ	e=	2 人称単数目的格	他動詞について「君に、君を」
エチ	eci=	2 人称複数目的格	他動詞について「君たちに、君たちを」
イ	i=	不定人称目的格	不定人称目的格 他動詞について 「(相手を含む) 私たちに、私たちを」 「人に、人を」「あなたに、あなたを」

ステップ68 「～という」の言い方 アリを使った引用

(例文)

- 1 タンチカプアナクヨウム アリ アイエ チカプネ。オウム ネクナククヤイヌアプ、
tan cikap anak, ヨウム ari a=ye cikap ne. オウム ne kunak ku=yaynu a p,
この鳥はヨウムという鳥だよ。オウムだと(私は)思っていたけれど、

チカプイサオッタクオマンアクス、「タンチカプヨウムネ」アリ
イサニシパハウエアン。
cikap isa or ta ku=oman akusu, “tan cikap ヨウム ne” ari isanispa hawean.
獣医に(私は)行ったら「この鳥はヨウムだ」とお医者さんが言ったんだ。
- 2 タネポクエラマン。エシンシノッチャキワソンノエアシカイハウエネ。
tanepo ku=eraman. esin siotcaki wa sonno easkay hawe ne.
はじめて(私は)知りました。さっき歌を歌ってたけれど、とても上手です
ね。
- 3 ナポニタ、イタクカエアイカプ。タントネポロアイネ、シネアンタ「ミ
チミチ」アリハウエアシ。
na pon hi ta, itak ka eaykap. tantane poro ayne, sine an ta “mici mici ” ari
haweas.
まだ小さい時は、言葉も話せなかった。だんだん大きくなる内に、ある日「お
父さん お父さん」と鳴いたんだ。
- 4 「チカプウトウッタアイヌイタクエラマンチカプカアン」アリクコロエ
カシハウエアンペネコロカ、ソンノネ。
“cikap utur ta aynuitak eraman cikap ka an” ari ku=kor ekasi hawean pe ne korka,
sonno ne.
私のおじいさんが「鳥の中には人の言葉がわかるものもいる」と言ってい
ましたが、本当ですね。

(学習内容とポイント)

「～という」

「母はハハハと笑った」の「と」のように、誰かの言葉などを引用するときにはアリ ari を使います。

ハハハ アリ クコロ ハポ ハウエアン コロ ミナ。

hahaha ari ku=kor hapo hawean kor mina.

ハハハ と私の母 言う ながら 笑った。

「京都という町は～」、「携帯電話というものは～」などという時の「～という」にもアリを使います。覚えてしまうと便利な表現です。

京都 アリ アイェ コタン

京都 ari a=ye kotan

京都 という 町

携帯電話 アリ アイェ プ

携帯電話 ari a=ye p

携帯電話 という もの

アリは「私の名前は〇〇といます」という自己紹介にも使えます。直訳すると難しく感じられる文ですが、このままの形で覚えてしまうとよいでしょう。下の「 」の中に自分の名前を入れて、自己紹介のときに使ってみましょう。

「 アリ クレヘアン。

ari ku=rehe an.

と私の名 ある。

ステップ 69 「～して」「～ので」の言い方 つなぎの言葉

(例文)

- 1 タネ シルクンネ クス、クホシピ ワ オヌマンイペ クエクスネ。
tane sirkunne **kusu**, ku=hosipi **wa** onumanipe ku=e kusune.
もう暗くなったので、(私は)帰って夕飯を(私は)食べるよ。
- 2 タヌ克蘭 エイペ ヒネ オロワ ネコン エイキクスネ？
tan ukuran e=ipe **hine** or **wa** nekon e=iki kusune?
今晚(君は)食事してそれからどう(君は)する？
- 3 タント クシンキ クス、クイペ ヒネ ナニクモコロクスネ。
tanto ku=sinki **kusu**, ku=ipe **hine** nani ku=mokor kusune.
今日は(私は)疲れたので、(私は)食事して(私は)寝るよ。
- 4 クアニ カクモコンルスイ コロカ、ビデオクエトゥン ワ クエッ クス タヌ克蘭クヌカツソ。
kuani ka ku=mokor rusuy **korka**, ビデオ ku=etun **wa** ku=ek **kusu** tan ukuran ku=nukar so.
私も(私は)眠いけど、ビデオを(私は)借りて(私は)来たので今晚(私は)見ようっと。
- 5 トペンペアン クス エコロ ワ エオマン ヒネ エエ コロ エヌカラヤクンピリカ。
topenpe an **kusu** e=kor **wa** e=oman **hine**, e=e **kor** e=nukar yakun pirka.
お菓子があるので(君は)持って(君は)行って、(君は)食べながら(君は)見るといいよ。
- 6 ビールクク コロ クヌカラクスネ クス、ピリカ。
ビール ku=ku **kor** ku=nukar kusune **kusu**, pirka.
ビールを(私は)飲みながら(私は)見るつもりなので、いいよ。

(学習内容とポイント)

短い文を作れるようになったら、文と文をつなぎあわせることで、より長い文をつくれるようになります。

例：

クミピクアヌ。「私は服を脱ぐ」+ クミピクフライエ。「私は服を洗う」

ku=mipi ku=anu.

ku=mipi ku=huraye.

クミピクアヌ ワ クフライエ ソ。「私は服を脱いで洗おうと」

ku=mipi ku=anu **wa** ku=huraye so.

マキリ シコポプ。「ナイフが錆びた」+ マキリ クルイケ。「私はナイフを研ぐ」

makiri sikopop.

makiri ku=ruyke.

マキリ シコポプ クス クルイケ。「ナイフが錆びたので研ぐ」

makiri sikopop **kusu** ku=ruyke.

エカシ シノッチャキ。「おじいさんが歌う」+ エカシ アプカシ。「おじいさんが歩く」

ekasi sinotcaki.

ekasi apkas.

エカシ シノッチャキ コロ アプカシ。「おじいさんが歌いながら歩く」

ekasi sinotcaki **kor** apkas.

☆日本語の「つなぎの言葉」には、同じ音でも意味が違うものがあります。たとえば「服を脱いで」というときの「で」、「箸で食べる(アリ)」、「鶴居でくらす(タ)」、「飲まないで寝る(ノ)」というときの「で」などは、アイヌ語では全て別の言葉で表します。

また、マキリ シコポプ クス を「ナイフが錆びたから」と訳しても意味が変わらないように、クスは「～(だ)から」という日本語とも対応しています。このときの「から」は、「食事してから(ワ)」の「から」とは違う言葉です。

ステップ70 「私の手」「君の手」の言い方 所有表現1

(例文)

- 1 エオトピ ヤカ ハニ。
e=otopihi yaka hani.
君の髪を指差して。
- 2 エ、テウシケ ウン。
e, te uske un.
はい、ここだよ。
- 3 エシキ モイモイエ。
e=sikihi moymoye.
君の目を動かして。
- 4 エ。
e.
はい。
- 5 エテケ スイエ ハニ。
e=teke suye hani.
君の手を振って。
- 6 エ。
e.
はい。
- 7 クヤカ ウシケ イエ ハニ。
ku=yaka uske ye hani.
私が指差したところを言ってね。
- 8 クパロ。
ku=paro.
私の口。

例文 1、3、5、8 の単語と下の単語を入れ替えて練習してください。

エレクチ エホニヒ エアミヒ エウレペチヒ エエトゥプイエヘ
e=rekucihi e=honihhi e=amihi e=urepecihi e=etupuyehe
君ののど 君の腹 君のつめ 君の足のゆび 君の鼻の穴

エサパハ エナヌフ エイッケウエヘ エシットキヒ エコッカサパハ
e=sapaha e=nanuhu e=ikkewehe e=sittokihhi e=kokkasapaha
君の頭 君の顔 君の腰 君のひじ 君のひざ

エラルフ エパルンペヘ エタプストゥフ エアシケペチヒ
e=raruhu e=parunpehe e=tapsutuhu e=askepecihi
君のまゆげ 君の舌 君の肩 君の指

エチキリ エサパハ エオソロホ エウレヘ
e=cikiri e=sapaha e=osoroho e=urehe
君の足(全体) 君の頭 君の尻 君の足首から先

(学習内容とポイント)

体の部分の呼びかた

クテケ ku=teke 「私の手」 エチキリ e=cikiri 「君の足」 のように、誰かの体の一部をさす言葉は、言葉の終わりがかならずアイウエオのいずれかで終わっています。この後ろにさらにハヒフヘホがつくこともあります。どちらでも意味は同じです。「私」や「君」の意味は、頭についた「ク ku=」や「エ e=」が表します。「私」や「君」以外の誰かの手や足の場合は、セタ サパハ seta sapaha 「犬の頭」 エカシキサラハ ekasi kisaraha 「おじいさんの耳」のように「持ち主・体の部分」の順に並べて言います。

☆ 「頭が痛い」「足が痛い」という時には、アラカ arka 「痛い」という言葉をつかってクサパ アラカ。ku=sapa arka. 「私の頭が痛い」 クチキリ アラカ。ku=cikiri arka. 「私の足が痛い」のように言います。クサパクアラカ。ku=sapa ku=arka. とは言いません。

ステップ71 「私の～」「君の～」の言い方 所有表現2

(例文)

- 1 ウパシポロ ルウェ！クコロセタ トウラ クソイネ ワ クシノッ ルスイ！
upas poro ruwe! **ku=kor seta** tura ku=soyne wa ku=sinot rusuy!
すごい雪だなあ！私の犬を（私は）連れて（私は）外に出て（私は）遊びたいよ！
- 2 エシノッ エトコ タ エコロウパシケ プサンケ ワ ウパシケ ハニ。
e=sinot etoko ta **e=kor upaekep** sanke wa upaske hani.
（君が）遊ぶ前に君の雪かきを出して雪かきしなさいね。
- 3 クコロウパシケ ネイ タ アン？
ku=kor upaskep ney ta an?
私の雪かきどこにある？
- 4 ウワ！エコッチョリ トウラ ネイ タ カ エオスル パナンコロ！
uwa! **e=kor cori** tura ney ta ka e=osurpa nankor!
知らない！君のソリと一緒にどこかに（君が）放り出したんでしょ。
- 5 ピリカワ。クコロマキリ クフナラ ワ アシンノ クカラクスネ。
pirka wa. **ku=kor makiri** ku=hunara wa asinno ku=kar kusune.
いいよ。私のナイフを（私は）探して新しく（私は）作る事にする。
- 6 タントソンノ メアンナ。エモイレ ヤクン エコロ自転車 カナニル プシナ。
tanto sonno mean na. e=moyre yakun **e=kor** 自転車 ka nani rupus na.
今日はとても寒いから、（君が）もたもたしてると君の自転車もすぐ凍っちゃうよ。

(学習内容とポイント)

「クコロウパシケブku=kor *upaskep* 私の雪かき」「エコロセタ e=kor seta 君の犬」など、道具やペットが誰の物かを言い表すには、「コロ kor 持つ」という言葉を使って表現します。

☆前の課に出て来た「私の手」などの表現も、日本語の訳では同じ「～の」ですが、道具などの場合にはコロ kor を使います。どちらでもいいというわけではなく、体の部分なら「ク ku=～」、持ち物などは「クコロ ku=kor～」と言い方が決まっています。

ステップ 72 単語を覚えよう 14

1	トゥレブ	turep	「オオウバユリ」
2	シケレペ	sikerpe	「キハダの実」
3	プクサ	pukusa	「ギョウジャニンニク」
4	コロコニ	korkoni	「フキ」
5	カルシ	karus	「キノコ」
6	アハ	aha	「ヤブマメ」
7	マウ	maw	「ハマナス」
8	チマキナ	cimakina	「ウド」
9	ノヤ	noya	「ヨモギ」
10	プクサキナ	pukusakina	「ニリンソウ」

ステップ73 言葉あそびで覚えよう 14

◇からだの歌 幌別方言版(「静かな湖畔」のふしで)

①サパ	エトゥ	シキ	パロ	キサラハ	ナヌフ
sapa	etu	siki	paro	kisaraha	nanuhu
頭	鼻	目	口	耳	顔

オトピヒ	レクチ	テケヘ	ホニヒ
otopihi	rekuci	tekehe	honihi
髪の毛	首・のど	手	腹

コッカ	ウレ	チキリ	オソロ
kokka	ure	cikiri	osoro
ひざ	足首から先	足(全体)	お尻

②ヤラポキ	シットキヒ	アシケペチ	アミヒ
yarpoki	sittokihi	askepeci	amihi
わき	肘	指	つめ

テッコトロ	コトロ	パルンペ	ニマキ
tekkotoro	kotoro	parunpe	nimaki
てのひら	胸	舌	歯

ラル	ハンク	イッケウエ	セトゥル
raru	hanku	ikkewe	seturu
まゆ	へそ	腰	背中

☆「静かな湖畔」のふしにあわせて、からだの各部の呼び方を覚える歌です。
指差したり、動かしたりしながら覚えましょう。

(作成：北原次郎太)

ステップ74 「私の兄さん」「君のおじさん」家族の言い方

(例文)

- 1 ピリカチヲネワ！ネンカラペネルウェアン？
pirka cip ne wa! nen kar pe ne ruwe an?
かっこいい船だね！誰が作ったの？
- 2 クコロアチャカンルウェネ。クミチアキヒネ。
ku=kor aca kar ruwe ne. **ku=mici** akihi ne.
私のおじさんが作ったんだよ。 私の父さんの弟なんだ。
- 3 エコロアチャアシカイクンネ。
e=kor aca askaykur ne.
君のおじさんは器用な人だね。
- 4 ホシキパタカラワクユピコレヲネ。
hoski pa ta kar wa **ku=yupi** kore p ne.
去年作って私の兄さんにくれたんだ。
- 5 クウニタアナククコロエカシカラアヤラチヲノカアンワ。
ku=uni ta anak,**ku=kor ekasi** kar a yarcip noka an wa.
私のうちには、私のおじいさんが作った樹皮船の写真があるよ。
- 6 ヌマンクコロフチコロチクエカタクパルウェネ。
numan **ku=kor huci** kor cikue ka ta ku=pa ruwe ne.
きのう私のおばあさんの机の上で(私は)見つけたんだ。

自分の家族の呼び方には、体の部分に使う「ク ku =～私の～」の形と、持ち物に使う「クコロ ku=kor ～私の～」の2つの形があります。どちらの表現を使うかは方言によって少しちがいますし、どちらも使えるという場合もあります。幌別方言で「私の～」というときの形を『アイヌ語方言辞典』『分類アイヌ語辞典人間篇』などを参考に表にしました。

沙流や千歳では、呼びかけに使える言葉がきまっています。表の中のひらがなで書いてあるものは、千歳方言で呼びかけに使われている言葉です。幌別方言で呼びかけるときには「エカシ」「ハポ」のように名詞に何もつけずに呼びます。

おじいさん	クコロエカシ ku=kor ekasi	おとうと	クアキ(ヒ) ku=aki(hi)
おばあさん	クコロフチ ku=kor huci	おじさん	クコロアチャ ku=kor aca
親	クエシコフウタラ ku=esikop utar	おばさん	クコロウナラベ ku=kor unarpe
おとうさん	クミチ ku=mici	こども	クポ(ホ)ku=po(ho)
おかあさん	クコロハポ ku=kor hapo	むすこ	クポ(ホ)ku=po(ho) クコロオツカイポ ku=korokkaypo
父	クオナ(ハ) ku=ona(ha)	むすめ	クマツネポ(ホ) ku=matnepo(ho)
母	クウヌ(フ) ku=unu(hu)	夫	クホク(フ) ku=hoku(hu)
にいさん	ポポ popo クユポ ku=yupo(死んだ兄)	妻	クマチヒ ku=maci(hi)
兄	クユピ(ヒ) ku=yupi(hi)	婿	クココウエヘ ku=kokowe(he)
ねえさん	カカポ kakapo クサポ ku=sapo(死んだ姉)	嫁	クコシマチ(ヒ) ku=kosmaci(hi)
姉	クサ(ハ) ku=sa(ha)	おい	クカラク(フ) ku=karku(hu)
いもうと(姉から)	クマタキ(ヒ) ku=mataki(hi)	めい	クマツカラク(フ) ku=matkarku(hu)
いもうと(兄から)	クマチリベ(ヘ) ku=macirpe(he)	まご	クミツポ(ホ) ku=mippo(ho)

ステップ 75 「～した」「～している」「これから～する」の言い方

(例文)

- 1 タント クエシコフウタラ チエフカラワ サツケクスネ。エウニ タ カ サツ
チェフカラア？
tanto ku=esikop utar ciep kar wa **satke kusune**. e=uni ta ka satcep **kar a**?
今日私の親たちは魚をさばいて干す予定だよ。君のうちでも干し魚を作っ
たかい？
- 2 クウニタ カ タント クエシコフウタラ チエフ サツケコロオカイ。クエトラ
ンネクス クキラワ クエケ。
ku=uni ta ka tanto ku=esikop utar ciep **satke kor okay**. ku=etoranne kusu ku=kira
wa ku=ek.
うちでも今日親たちが魚を干しているよ。私は嫌だから(私は)逃げて(私
は)来たんだ。
- 3 エキラアルウェ？クサハ カ エトランネワ モコロワアン コロカ、クアニ
アナク クカスイクスネ。
e=kira a ruwe? ku=saha ka etoranne wa **mokor wa an** korka, kuani anak
ku=kasuy kusune.
(君は) 逃げたの？私の姉さんも面倒がって寝てるけど、私は手伝うつも
りだよ。
- 4 ユフテク ヘカチ エネ ルウェ。クアニ アナク ライワアン チエフクケレ ポ
カクシトマ。
yuptek hekaci e=ne ruwe. kuani anak **ray wa an** ciep ku=kere poka ku=sitoma.
君は働き者の子供だね。私は死んでいる魚を(私は)触るだけでも(私は)
おっかないよ。

(学習内容とポイント)

アイヌ語の動詞は、その言葉が表す動作を「もうした」という意味にも、「今している」、「(これから) ~するところだ」という意味にもなります。それをよりはっきり使い分けるためには、動詞の後ろに「ア a (～し) た」、「ワアン wa an (～し) ている」、「コロアン kor an (～し) ている」、「クスネ kusune (これから～する) ところだ」といった言葉を続けます。

☆日本語の「(～し) ている」に当たる言い方は2つあります。

クア^アカシ コロ クアン ku=apkas **kor ku=an**. 「私は歩いている。」

クアシ ワ クアン ku=as **wa ku=an**. 「私は立っている。」

エイベ コロ エアン e=ipe **kor e=an**. 「君は食事をしている。」

ロカン ワ オカヤン rok=an **wa okay=an**. 「私たちは座っている。」

エチカラ コロ エチオカイ eci=kar **kor eci=okay**. 「君たちは作っている。」

エモコロ ワ エアン e=mokor **wa e=an**. 「君は寝ている。」

メコエク コロ アン meko ek **kor an**. 「ネコがやって来ている。」

チマキナ トウク ワ アン cimakina tuk **wa an**. 「ウドが生えている。」

この区別は少し難しいので、言いまわしをセットで覚えてしまう方がいいでしょう。

また、「(～し) ている」の表現を使う時は、コロ kor やワ wa の前と後にある両方の動詞にク ku= やエ e= をつけて (3 人称ならなにもつけないで)、主語を示します。

ステップ 76 「～できる」「～できない」の言い方

(例文)

- 1 メコ みかん エエアシカイ?
meko みかん **e easkay**?
ネコってみかん 食べられる?
- 2 みかん アナクネ エカエアイカフ。エペッペツケ ネヤクン、
みかん anakne **e ka eaykap**. epetpetke ne yakun,
みかんは 食べられない。イカだったら、
- 3 エエアシカイ ハウエ?
e easkay hawe?
食べられるの?
- 4 コロカ、ナニ オシケ コヤタツケワ アプカシカ エアイカフ ペネ。
korka, nani oske koyatatke wa **apkas ka eaykap** pe ne.
けれど、すぐにおなか がグルグル なって 歩けなくなる んだ。
- 5 ハウエ ネヤクン、エカエアイカフ ナンコロ。
hawe ne yakun, **e ka eaykap** nankor.
そしたら、食べられない んでしょう。

(学習内容とポイント)

「～ができる」「～ができない」

「～ができる」や「～ができない」は、動詞の後にエアシカイ easkay 「～ができる」とエアイカフ eaykap 「～ができない」をつけて表現します。これは動詞に添えるだけのものなので、クやエを付ける必要はありません。

エアイカフを使う場合には、前にカがつくことが多いようです。これは日本語の「～も」にあたるものですが、エアイカフのほかに～ソモ キ somo ki 「～しない」、イサム isam 「～がない」などの表現とセットで出てきます。このようなときは、無理に訳さない方がわかりやすい日本語になることもあります。

ステップ 77 「～してください」「～してみる」「～したい」の言い方

(例文)

- 1 ハポ、プリン クエルスイ ナ。カラワ エネレワ エンコレ。
hapo, プリン **ku=e rusuy** na. kar wa **en=ere wa en=kore**.
お母さん、プリンが(私は) 食べたいよ。作って(私に) 食べさせてちょう
うだい。
- 2 ハウエ ネヤクン ウトゥラノ アカラワ インカラアンロ。
チカプノク ネワ ペコトペ サンケワ エンコレ。
hawe ne yakun uturano **a=kar wa inkar=an ro**.
cikap nok newa *pekotope* **sanke wa en=kore**.
それなら一緒に(私たちが) 作って(私たちが) みようか。卵と牛乳を 出
してちょうだい。
- 3 ホシキノ ペコトペ ネワ さとう アウコポイエ ヲネ。
エネ イキワ インカラ。
hoskino *pekotope* newa さとう a=ukopoye p ne.
ene **iki wa inkar**.
最初に牛乳と砂糖を混ぜるのよ。こうやって やっ
てごらん。
- 4 エ。 クキルスイ。
e. **ku=ki rusuy**.
うん。(私は) やりたい。
- 5 チカプノク ペレワ エンコレ。タンペ ネノ ウコポイエ ワ インカラ。アシカ
イ アシカイ。
cikapnok **pere wa en=kore**. tanpe neno **ukopoye wa inkar**. askay askay.
卵を割ってちょうだい。こういうふうに 混ぜて みて。じょうずじょうず。
- 6 ホカンパ。
hokampa.
むずかしい。

- 7 冷蔵庫 オロ オマレワ エンコレ。ポソノ エサヅケ ワ エイヌ？
 冷蔵庫 or omare wa en=kore. ponno e=sapke wa e=inu?
 冷蔵庫に入れてちょうだい。少し(君は) 味見して(君は) みる？
- 8 クサヅケ ルスイ。ソソノ トペン フミ。
 ku=sapke rusuy. sonno topen humi.
 私は味見したい。とっても甘いなあ。

(学習内容とポイント)

何かをしたいときは、その動詞の後ろにルスイ rusuy 「～したい」をつけます。「出かけた

クオマン ルスイ。ku=oman rusuy. 「私が出かけた

パイェアン ルスイ。paye=an rusuy. 「私たちは出かけた

動詞の後ろにワ エンコレ wa en=kore をつけると「私に(～し) てください」という言い方になります。これも一つの命令文ですから、前の動詞にエ e=「君が」などを付ける必要はありません。「私たちに(～し) てください」というときは、ワ ウンコレ wa un=kore やワ イコレ wa i=kore となります。

日本語の「(～し) てみる」のように、ためしに何かをしてみるというときは、動詞の後にワ イヌ wa inu 「～(し) てみる」またはワ インカラ wa inkar 「～(し) てみる」を付けます。「見てみる、作ってみる」などにはインカラ inkar を使い、そのほかの「触ってみる、聞いてみる、味わってみる、考えてみる」などにはイヌ inu を使います。

「～してみなさい」のように相手にうながすときはそのままの形ですが、自分で「～しようと思う」あるいは「～してみた」などと言いたいときは～ワ クイヌ～ wa ku=inu や～ワ クインカラ～ wa ku=inkar とします。

ステップ78 単語を覚えよう 15

- 1 ランコ ranko 「カツラ」
- 2 プンカウ punkaw 「ドスナラ (ハシドイ)」
- 3 ネシコ nesko 「クルミ」
- 4 ラスパニ rasupani 「サビタ (ノリウツギ)」
- 5 スンク sunku 「エゾマツ」
- 6 フブ hup 「トドマツ」
- 7 トウンニ tunni 「カシワ」
- 8 アッニ atni 「オヒョウ」
- 9 ニペシニ nipesni 「シナ」
- 10 トペンニ topenni 「イタヤ」

ステップ79 言葉あそびで覚えよう15

◇アイヌ語版「赤鼻のトナカイ」

“エトゥフレルトルフ ミケミケ エトゥフ！”

“etu hure rutoruhu mikemike etuhu!”

“赤鼻のルドルフの ぴかぴかの鼻ったら！”

エヌカラ ヤクン ネノ エヤイヌ ナンコロ

e=nukar yakun neno e=yaynu nankor

君も見たら きっとそう思うだろう

モシマ トウナハカイ ウタラ ウェンノ エミナ

mosma tunahkay utar wenna emina

ほかのトナカイたちは ひどく笑って

トゥラノ シノッ ポカ ソモ キルウェ ネ

turano sinot poka somo ki ruwe ne

いっしょに遊ぶことも しなかったんだ

ウランラン アンチカッタ サンタエカシ

uranran ancikar ta santa ekasi

霧のふかい夜に サンタのおじいさんが

“ミケミケエエトゥ クニスクナ” アリ ハウエアン

“mikemike e=etu ku=nisuk na” ari hawean

“ぴかぴかのお前の鼻が 頼りだよ” といった

モシマ トウナハカイ ウタラ ヤイカタヌ キワ

mosma tunahkay utar yaykatanu ki wa

ほかのトナカイたちは おそれいって

ヤイレнка トウラノ ルトルフ ラムイェ

yayrenka turano rutoruhu ramuye

喜びとともに ルドルフをたたえた

☆クリスマスソングのアイヌ語訳です。英語の歌詞を元に主として幌別方言で訳したものです。

(アイヌ語訳：平成21～23年度アイヌ文化担い手育成事業 講師・受講者)

テキスト作成にあたって参考とした主な文献を以下にあげます。

- 萱野茂（1996）『萱野茂のアイヌ語辞典』三省堂．
佐藤知己（2008）『アイヌ語文法の基礎』大学書林．
知里真志保（1973-74）『知里真志保著作集』1-4 巻, 別巻 1-2 巻．平凡社．
中川裕（1995）『アイヌ語千歳方言辞典』草風館．
中川裕、中本ムツ子（1997）『エクスプレス アイヌ語』白水社．
中川裕、中本ムツ子（2007）『カムイユカラでアイヌ語を学ぶ』白水社．
田村すす子（1996）『アイヌ語沙流方言辞典』草風館．
田村すす子（1997）「アイヌ語」『日本列島の言語』三省堂．
服部四郎（編）（1964）『アイヌ語方言辞典』岩波書店．
北海道ウタリ協会（編）（1994）『アコロイタク AKOR ITAK アイヌ語テキスト 1』クルーズ．

なぞなぞの答え

ステップ 6	①チカフノケ	cikapnok	「鳥の卵」
	②キサラ	kisar	「耳」
ステップ 10	①ニマキ	nimaki	「歯」
	②ラウラウ	rawraw	「コウライテンナンショウ」

初級アイヌ語 ー幌別ー

発行年月 2011年3月

発行 財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構

〒060-0001

北海道札幌市中央区北1条西7丁目プレスト1・7

TEL (011) 271-4171 FAX (011) 271-4181

URL <http://www.frpac.or.jp/> E-mail: ainu@frpac.or.jp